

2019年度

事業報告書

社会福祉法人  
札幌報恩会

## — 目次 —

I	2019年度 施策の成果	1
	1. 事業の期間	1
	2. 施策の成果	1
II	2019年度 事業実績	1
	1. 法人本部 実績	1
	(1)財務の視点～経営管理、財務管理	1
	(2)利用者・地域の視点～サービス管理、マーケティング	1
	(3)業務改善の視点～リスクマネジメント	2
	(4)人材育成の視点～人事労務、労務管理	2
	(5)理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施	2
	1.理事会の開催	2
	2.評議員会の開催	4
	3.監事監査の実施	4
	(6)会計監査人監査状況(養和監査法人)	5
	(7)新人及び中途採用試験結果(合格者)	5
	(8)避難訓練	6
	(9)法人研修	7
	(10)法人行事関連	8
	(11)職員厚生会	9
	(12)経営コンサルタント(吉岡経営センター)実績	9
	1. 会計監査	9
	2. 職員研修	9
	3. 給与制度改定	9
	4. 人事考課制度改定	10
	5. 預り金監査	10
	(13)地域貢献事業 取り組み状況	10
	(14)設備の改善状況	12

2. 各事業所実績	13
【札幌報恩学園 概要】	13
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【グリーンホーム厚別 概要】	25
施設入所支援・生活介護・短期入所	
【そよ風 概要】	34
生活介護	
【ワークショップ上野幌 概要】	40
生活介護・就労継続支援A・就労継続支援(B型)～ 多機能型	
【のぞみ寮 概要】	47
宿泊型自立訓練	
【くるみ寮 概要】	51
共同生活援助 ～ 介護サービス包括型	
【ホープス 概要】	56
就労継続支援(B型)・就労移行支援 ～ 多機能型	
【サポート91 概要】	60
居宅介護・行動援護・重度訪問介護・同行援護・移動支援	
【ステーション106 概要】	64
相談支援	
【就業・生活相談室しんさっぽろ 概要】	66
就業・生活相談	
【まごころ保育園 概要】	71
保育事業	
【幌西ほうおん 概要】	78
生活介護・就労継続支援(B型)～ 多機能型	

# I. 2019 年度 施策の成果

## 1. 事業の期間

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日

## 2. 施策の成果

中期経営計画の機能別5分野について、2019 年度についての施策成果(達成状況)を報告する。

別紙 中期経営計画 2019 年事業報告 参照

# II. 2019 年度 事業実績

## 1. 法人本部 実績

### (1)財務の視点～経営管理、財務管理

- ・理事会、定時評議員会は予定通り開催、理事長、業務執行理事の業務執行状況報告を理事会ごとに報告を行った。
- ・年 2 回環境整備委員会を開催、理事会で報告を行った。
- ・後援会活動、町内会活動は概ね参加できた。
- ・会計監査人による監査を実施。指摘事項に対する改善及び内部管理体制構築を進めている状況である。
- ・財務分析は月次会議を中心に報告した。
- ・設備計画(購入、工事、改修等)は概ね達成できた。
- ・預り金監査は外部に委託。年々指摘事項が減少している。
- ・2019 年度の中期経営計画は概ね達成できた。

### (2)利用者・地域の視点～サービス管理、マーケティング

- ・高齢化に伴う技術の向上を図る研修会を実施。
- ・地域における公益的な取り組みの実施として町内会支え合い活動と連携して行事を開催できた。
- ・地域の子育て世帯の交流としての場の提供を行った。
- ・café スミレ、café ラベンダーの運営を通して地域貢献が充実してきている。

### (3)業務改善の視点～リスクマネジメント

- ・法人合同の災害訓練を継続実施。毎年想定災害を変えて行っている。
- ・大型倉庫建築に向け委員会を開催、使用方法と備品関連を検討した。小型発電機を5台購入した。老朽化車輛の取り換えで2台購入、1台リースとした。
- ・ホームページの見直しで委員会を設置し内容変更を検討した。
- ・法人全体のIT関連を整理し、セキュリティ強化を実施。

### (4)人材育成の視点～人事労務、労務管理

- ・毎月採用試験の案内を出しているが、年々減少している。業者を使い広範囲に募集案内を出しているが職員補充は厳しい状況である。
- ・資格取得制度を利用した職員は11名、かなり浸透してきた。
- ・特定処遇改善等加算とともに資格手当を見直して一部賃金改正を実施した。
- ・人権擁護の意識徹底のため研修会を継続実施した。

### (5)理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

#### 1. 理事会の開催

開催回	開催年月日	審議事項	
第1回	2019年2月16日 (土)	報告第1号 第3四半期監事監査の結果について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 創立100周年記念事業収支報告について 議案第1号 評議員欠員における新候補者の推薦について 議案第2号 処遇改善手当及び期末賞与支給について 議案第3号 2019年度法人管理職の人事異動及び任命について 議案第4号 北洋銀行との取引について	承認 承認 承認 可決 可決 可決 可決
第2回	2019年3月23日 (土)	報告第1号 評議員選任解任委員会からの報告について 議案第1号 平成30年度第二次補正予算(案)について 議案第2号 2019年度事業計画(案)について 議案第3号 2019年度各拠点区分当初予算(案)について 議案第4号 2019年度地域における公益的な取組み企画(案)について 議案第5号 法人規程の一部改正について 議案第6号 2019年度建設事業等実行委員会継続について 議案第7号 コンサル業者の2018年度業務報告と2019年度契約更新について	承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決
第3回	2019年6月7日 (金)	報告第1号 第4四半期監事監査結果の報告について 報告第2号 理事長及び業務執行理事の業務執行報告、業績管理報告について 報告第3号 2019年建設等実行委員会からの報告について 議案第1号 平成30年度事業報告の承認について	承認 承認 承認 可決



		議案第1号 2019年度第一次補正予算(案)について 議案第2号 処遇改善加算手当及び期末賞与の支給について 議案第3号 法人規程の一部改正について 議案第4号 運営規定の一部改正について	可決 可決 可決 可決
第2回	2020年3月28日(土)	議案第1号 2019年度 第二次補正予算(案)について 議案第2号 2020年度 事業計画(案)について 議案第3号 2020年度 各拠点区分当初予算(案)について 議案第4号 2020年度地域における公益的な取組み企画(案)について 議案第5号 法人規程の一部改正について 議案第6号 運営規定の一部改正について 議案第7号 2020年度建設等実行委員会継続及び委嘱事項について 議案第8号 コンサル業者の2019年度業務報告と2020年度契約更新について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

## 2. 評議員会の開催

開催回	開催年月日	審議事項	
第1回	2019年6月22日(土)	報告第1号 評議員選任解任委員会からの報告について 報告第2号 平成30年度決算に係る監事監査報告について 議案第1号 平成30年度事業報告の承認について 議案第2号 平成30年度決算に係る計算書類及び財産目録の承認について 議案第3号 平成30年度社会福祉充実残額の算定結果について 議案第4号 法人理事の選任について 議案第5号 法人監事の選任について 議案第6号 会計監査人の選任について 議案第7号 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について 議案第8号 定款の一部改正について	承認 承認 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決

## 3. 監事監査の実施

第1回	2019年9月28日(水) (4月から6月分)	1 小口現金の実査 2 預金残高の確認
第2回	2019年11月20日(水) (4月から9月分)	3 会計処理(第1から4四半期) 4 予算執行状況確認
第3回	2019年2月19日(水) (4月~12月分)	5 法人運営関係確認 6 決算作業(第4回)
第4回	2020年6月3日(水) (決算)	

(6)会計監査人監査状況(養和監査法人)

訪問日	実査	指摘改善事項
・4月22日 ・5月24日 ・7/29 ・9月26日 ・10月23日 ・11月29日 ・12/13 ・1月10日 ・2月11日～13日 ・5月20日～22日	・調査対象部門の担当者へのヒアリング(統括、局長、理事長、担当者) ・資料の閲覧 ・データ分析 ・収入計上プロセス確認 ・人件費計上プロセス確認 ・経費計上プロセス確認	・固定資産取得について ・会計処理について ・規程関連、委員会関連について ・リース関連について

(7)新人及び中途採用試験結果(合格者)、退職者推移

<令和元年度新人採用の件>

- ・6/30 採用試験実施1名受験 合格後 辞退(支援:男性1名)
  - ・7/28 採用試験実施1名受験 合格後 辞退(支援:女性1名)
  - ・8/30 採用試験実施2名受験 合格後 辞退(支援:男性1名、女性1名)
  - ・10/5 採用試験実施1名受験 不合格(男性1名)
  - ・11/9 採用試験実施5名受験 5名合格(支援:男性3名、女性2名)
  - ・12/14 採用試験実施2名受験 2名合格(支援:女性1名保育1名)
- 合計7名内定(支援員:男性3名、女性3名、保育士:女性1名)

<入職>

・(新任)

- ・4月: 正12名(配置:報恩8名、ワーク1名、くるみ1名、まごころ2名)、
- ・臨職1名(グリーン1名)、パート5名(報恩1名、くるみ3名、幌西1名)

<中途>

- ・5月:正3名(報恩3名)、パート2名(くるみ)
- ・6月:正1名(しんさっぽろ)、臨職1名(まごころ1)、パート2名(くるみ)
- ・7月:正1名(報恩)、パート6名(そよ1、ワーク1、のぞみ1、くるみ3)
- ・8月:正2名(まごころ)、臨職1名(報恩)、パート6名(グリーン1、ワーク1、まごころ1、くるみ3)



- ・ 9月:正 2名(報恩)、臨職 1名(報恩)
- ・10月 :正 1名(報恩)、パート 3名(ステーション1、くるみ2)
- ・11月:正 1名(報恩)、パート 1名(くるみ)
- ・12月:パート 1名(くるみ)
- ・ 1月:正 3名(報恩2、グリーン1)、パート3名(グリーン、そよ風、くるみ)
- ・ 2月:パート 3名(のぞみ 1、くるみ 2)
- ・ 3月:正 1名(グリーン)、

(正職 27名、臨職 4名、パート 32名)

#### <退職>

- ・ 4月:正 1名(報恩)、パート 2名(のぞみ、くるみ)
- ・ 5月:正 1名(報恩)、パート 2名(ワーク、まごころ)
- ・ 6月:正 1名(報恩)、臨職 1名(くるみ)パート 1名(くるみ)
- ・ 7月:正 1名(報恩)
- ・ 8月:正 2名(報恩1、グリーン1)、パート ?名(くるみ)
- ・ 9月:正 3名(報恩 3)、臨職 1名(報恩)、パート2名(グリーン1、くるみ1)
- ・10月:0名
- ・11月:パート 1名(くるみ)
- ・12月:正 2名(そよ風・幌西)、パート 3名(そよ風 1、くるみ 1、のぞみ 1)
- ・ 1月:0名
- ・ 2月:正 1名(グリーン)、パート 1(くるみ)
- ・ 3月:正 17名、パート 2名(くるみ)

(正職 29名、臨職 2名、パート 14名)

#### (8)避難訓練(時間は開始の時間)

##### ①札幌報恩学園

- ・7/16 夜間想定訓練 実施
- ・3/13 10時 実施

##### ②グリーンホーム厚別・そよ風

- ・9/11 10時 30分 夜間想定訓練 実施
- ・10/9 13時 実施
- ・3/13 13時 実施

##### ③ワークショップ上野幌

- ・5/21 11時 実施
- ・8/29 11時 実施
- ・11/14 11時 実施

・3/11 11時 実施

④のぞみ寮

- ・6/8 13時30分(火災) 実施
- ・8/4(地震の想定)15時00分 実施、
- ・10/19(夜間想定火災)20時00分 実施

⑤くるみ寮

- ・5/15、5/16、5/17、5/18、5/24、5/31、各ホームにて実施
- ・9/3,7,9,12,17,28 各ホーム、サテライト(夜間想定)
- ・1/10,20,22,27,30 各ホームにて実施

⑥ホープス

- ・5/17 10時30分 実施
- ・11/13 10時45分 実施
- ・3/13 14時 実施

⑦幌西ほうおん

- ・5/11 10時30分 実施
- ・7/17 消防署立会いの訓練
- ・1/24 10時30分 実施

⑧まごころ保育園

- ・4/11・5/9・6/6・7/4・8/9・9/4(法人合同)10/1 消防士立会訓練(通報・消火・避難)11/13・12/13・1/9 毎月1回 火災・地震・不審者対応 順次実施

※法人全体防災避難訓練(大型地震 9/4)

(9)法人研修

- ・4/25 安全運転説明会(共栄火災)
- ・6/4 新任研修フォローアップ研修
- ・6/5 中期経営計画説明会
- ・6/11 救急救命講習(外部委託)
- ・6/18 アンガーマネジメント研修①(外部講師)
- ・7/16 アンガーマネジメント研修②(外部講師)
- ・7/29 メンタルヘルス研修会(五稜会)
- ・8/3 四法人個別支援計画作成研修
- ・8/20 アンガーマネジメント研修③(外部講師)
- ・8/23 救急救命講習②(外部委託)
- ・9/2 防犯研修(外部委託)
- ・9/9 今後のサビ管研修の流れについて
- ・9/10 特別処遇改善加算の概要及び法人の支給方法についての説明会
- ・9/19 メンタルヘルス研修②(五稜会)
- ・9/25 健康体操 地域に向けた研修(外部講師)

- ・9/28 四法人個別支援計画作成研修
- ・10/10 虐待防止指導者伝達研修
- ・10/16 接遇向上研修(外部講師)
- ・11/7 メンタルヘルス研修(外部講師)
- ・11/11 「はじめてのヨガ」(外部講師)
- ・11/11 新任職員フォローアップ研修(6か月)
- ・11/19 介護技術研修①「移乗」(外部講師)
- ・12/2 触法関係(外部講師)
- ・12/3 橋文也先生の講演「一笑健明」
- ・12/4 生活習慣病研修(外部講師)
- ・12/7 四法人個別支援計画研修
- ・12/9 法人規程一部改正 説明会
- ・12/18 介護技術研修②「着替え・整容」(外部講師)
- ・1/25 四法人個別支援計画研修
- ・3/4 各事業所ケース発表 中止 → 発表予定資料配布
- ・3/23～27 新任職員研修

#### (10)法人行事 関連

##### ① 運動会

- ・ 実施日:2019年6月16日  
会 場:上野幌東小学校

##### ② 報恩まつり

- ・ 実施日:2019年9月23日  
会 場:GH厚別駐車場及び交流ホームひまわり周辺

##### ③ 創立記念日

- ・ 実施日:2019年11月30日  
会 場:地域交流ホームひまわり  
内 容:利用者、職員の出し物

##### ④ 成人式

- ・ 実施日:2020年1月13日  
会 場:交流ホームひまわり  
対象者:そよ風;1名、グリーンホーム厚別:1名、ワー;1名、のぞみ寮利用者;6名、  
幌西ほうおん;2名 合計11名(男性6名、女性5名)  
内 容:写真撮影、記念品贈呈等 ※保護者参加、全事業所利用者  
参加(選抜)

⑤ 参観日

- ・ 実施日:2019年5月12日  
会 場:地域交流ホームひまわり  
内 容:全体会、作業参観等
- ・ 実施予定日:2020年2月23日 中止

(11)職員厚生会 関連(2019.2.29 現在、会員数;262名)

- ①本部より20万円助成
- ②厚生会係りによる行事企画及び慶弔関連の実施
- ③会議(第1回;2019.4、第2回:2020.2、第3回:2020.3)

(12)経営コンサルタント(吉岡経営センター)実績

1. 会計監査(計12回)実施:2019年4月~2020年3月 毎月1回訪問

(1)決算業務指導

- ①就労支援事業の損益修正事項アドバイス
- ②固定資産管理アドバイス

(2)会計

\* 指導

- ①小口現金の取り扱い
- ②消費税申告業務支援
- ③処遇改善加算に関わる勘定科目の整理
- ④消費税軽減税率 に関する 会計処理
- ⑤中古物品の寄贈に関する仕訳処理

2. 職員 研修

(1)幹部職研修

- ①人事考課者研修 2019年11月13日実施

(2)新人研修

- ①ビジネスマナー、接遇、就業規則 研修 2020年3月26日実施

3. 給与制度改定

(1)諸手当改定

- ①資格手当の改定
- ②夜勤手当の改定

## (2)賞与制度

### ①賞与の算定基礎額を変更

(旧)基本給+扶養手当、(新)基本給のみ

## 4. 人事考課制度改定

### (1)フィードバックの仕組みを改定

合計点数・SABCDのみフィードバックすることとする。

### (2)人事考課結果の相対区分、グルーピングの設定

主任、係長、課長の評価結果を集計して、査定委員会(理事4名)で序列を検証する。

### (3)人事考課制度 規程改定

## 5. 預り金監査

実施日:2019年11月13

監査内容は別途報告書

## (13)地域貢献事業(取り組み状況)

### 1. 地域における公益的な取り組み事業

- ・5/11 第9回 いい湯だな開催  
地域の方 28名参加(男性19名、女性9名)  
参加費:一人 100円
- ・7/13 第10回 いい湯だな開催  
地域の方 31名、入浴6名(男性17名、女性14名)  
参加費:一人 100円
- ・9/14 第11回 いい湯だな開催  
地域の方 26名参加(男性15名、女性11名)  
参加費:一人 100円
- ・11/9 第12回 いい湯だな開催  
地域の方 33名参加(男性19名、女性14名)  
参加費:一人 100円
- ・1/11 ほ〜お〜ん新年会開催  
地域の方 21名参加(男性16名、女性5名)  
参加費:一人 100円

### 2. 地域との関連

- ・上野幌小学校運動会参加交流
- ・厚別区ボランティア協議会の方々の施設見学及び園児交流(まごころ)
- ・いずみ公園清掃活動参加 7/6.13.20.27

- ・幌西ほうおん 3 階(多目的活動室)一部地域開放
  - 旭山体操サークル(健康体操)、伏見健康サークル(ヨガ)
  - 町内マンション総会、民生委員・児童委員協議会との交流
  - 他事業所音楽活動(TAK、びーと)、あけぼの瞑想ヨガの会
- ・子育て支援「ひろば ぼぶり」の開催(月 1 回 6 月より開始)
  - 6/28 計 3 名(0 歳児対象).7/30. 4 名 9/30 0 名
  - 10/21 計 1 名.10/31 計 1 名(カフェ ラベンダーと合同企画)
  - 11/15 計 0 名(幼児対象).12/10 計 0 名.1/15 計 0 名
- ・厚別区地域部会夢市場出展(8/25 法人職員 2 名参加)
- ・上野幌第 1 町内会秋祭り(9/7 法人職員 9 名参加)
- ・いずみ公園清掃活動参加(8/3~10/26 の毎週土曜参加)
- ・カフェすみれ貸し切り(札幌慈啓会主催、幌西地区健康講話)
- ・10/24 上野幌中学校 2 年生職場体験来園 9 名参加
- ・11/20 厚別南中学校 3 年生 職場体験来園 20 名参加
- ・11/15 ノホロの丘小学校 1 年生とまごころ保育園の年長児との交流(学習発表会の練習見学)
- ・12/14 町内 ささえあいクリスマス会 園児招待 9 名参加

### 3. ボランティアの受け入れ

- ・補修:上野幌中央町内会
  - ( 4 月;58 名、5 月;21 名、6 月;16 名、7 月;11 名;50 名、
  - 9 月;22 名、10 月;14 名、11 月;5 名、12 月;0 名、1 月;0 名)
- ・園芸 グリーンホーム厚別 2 名(園芸他報恩まつり 4 名、他 1 名)
- ・園庭草取り まごころ保育園 1 名

### 4. 実習生の受け入れ(大学、専門学校生)

- ・札幌報恩学園 17 名
- ・グリーンホーム厚別 14 名
- ・まごころ保育園 9 名
- ・ワークショップ上野幌 5 名
- ・ホープス 1 名

### 5. カフェの来店者数

- ・カフェ すみれ
  - 来客数:4 月 226 名、5 月 219 名、6 月 179 名、7 月 260 名
  - 8 月 267 名、9 月 270 名、10 月 230 名、1 月 216 名
  - 12 月 241 名 1 月 172 名、2 月 136 名、3 月 11 名
  - (合計 2427 名)

・カフェ ラベンダー

来客数：4月 406名、5月 587名、6月 449名、7月 609名  
 8月 406名、9月 587名、10月 449名、11月 612名  
 12月 584名、1月 628名、2月 543名、3月 386名

(合計 6246名)

(14)設備の改善(設備投資計画より)

(単位;千円)

事業所名	事業名	金額
本部	除雪業務	990
	ストレスチェック検査料金	342
	四阿設置	5,848
	アスベスト・CB 調査	461
札幌報恩学園	居室修理	7,250
	家電交換	767
	厨房機器交換工事	4,386
	事務所園長室床改修	934
	LED電気一部交換	6,753
	パソコン関連	2,488
グリーンホーム厚別	居室修理	10,847
	家電交換	576
	厨房機器交換工事	1,098
	パソコン関連	1,275
	支援室事務所室床改修	1,275
	LED電気一部交換	1,446
	追加(2階床仕上げ改修工事)	9,900
	追加(2階階段引戸設置工事)	2,160
ワークショップ上野幌	菓子工房屋根修繕	1,965
	パソコン関連	709
	消毒保管機	269
くるみ寮	スプリンクラー設置(カメハウス)	4,700
	パソコン関連	532
のぞみ寮	パソコン関連	344
ホープス	—	—
まごころ保育園	LED電気一部交換	1,284
	遊具	380
	家電	143
しんさつぼろ	—	—
幌西ほうおん	—	—
計		69,122

## 2. 各事業所 実績

### 【札幌報恩学園 概要】

#### — 施設入所支援・生活介護・短期入所 —

##### 1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さまが自立した日常生活または社会生活ができるよう、入浴、排泄及び食事の介護、創作的な活動または生産活動、その他の便宜を適切かつ効果的に実施しました。
- 入所支援においては、主として夜間において入浴、排泄または食事の介護、生活等に関する相談及び助言その他の必要な日常生活上の支援活動を行いました。
- 短期入所、日中一時支援事業においては地域で暮らす方々の多様なニーズに、お応え出来るようたくさんの方々をお受けしました。

##### 2. 利用者支援

###### (1)受け入れ目標

###### ①知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	145名(入所契約者数147名)
受け入れ目標(年間延べ)	51,650名 (147名×366日×0.96)
受け入れ実績	51,511名

###### ②知的障がい者、生活介護

利用者の定員	145名 (生活介護契約者数156名、うち在宅グループ9名)
受け入れ目標(年間延べ)	40,856名 (156名×270日×0.97)
受け入れ実績	40,587名

###### ③知的障がい者(児)短期入所事業

受け入れ枠 定員	5名
受け入れ目標(年間延べ)	1,022名
受け入れ実績	880名

###### ④日中一時支援事業の受入れ

受け入れ枠 定員	6名
受け入れ目標(年間延べ)	30名
受け入れ実績	25名



(2)在籍実績

施設入所支援においては、51,650名の目標に対して、実数51,511名であり未達成であった。生活介護においても、目標40,856名に対し、実数40,587名となり未達成であった。短期入所事業においても実数880名の利用、日中一時支援においても実数25名の利用にとどまり未達成となった。

【施設入所支援】

①利用者人数調

区 分	人 員		
	男	女	計
平成30年度から本年度への繰越人員	98	49	147
本年度中の入所者数	2	0	2
本年度中の利用者総数	100	49	149
本年度中の退所者数	2	1	3
差引本年度か令和2年度への繰越人員	98	48	146
創立以来の利用者総数(大正7年11月30日)	858	424	1,282

②月別人員調

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	147	148	148	147	147	147	147	147	147	146	145	146	1,762
月平均 施設入所	142.7	142.6	141.6	141.9	137.8	140.9	141.3	141.9	140.8	137.0	139.6	140.9	140.7
入所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
退所	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3

③本年度入所利用者数調

男	女	計
2人	0人	2人

④本年度退所者調

理 由	男	女	計
家 庭 引 取	0	0	0
就 職	0	0	0
他 施設への変更	0	0	0
ケアホーム	0	0	0
死 亡	1	1	2
その他(入院退所)	1	0	1
計	2	1	3

⑤在籍者数調 (初日現在)

月 程度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害程度区分6	117	118	118	117	117	117	117	117	117	118	117	117	1,407
障害程度区分5	25	25	26	26	26	26	26	26	26	24	24	25	305
障害程度区分4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	50
障害程度区分3													
障害程度区分2													
障害程度区分1													
計	147	148	148	147	147	147	147	147	147	146	145	146	1,762

【生活介護】

①利用者人数調

区 分	人 員		
	男	女	計
平成 30 年度から本年度への繰越人員	103	53	156
本年度中の入所者数	1	0	1
本年度中の利用者総数	104	53	157
本年度中の退所者数	6	5	11
差引本年度から令和 2 年度への繰越人員	98	48	146
創立以来の利用者総数(大正 7 年 11 年 30 日)	862	428	1,290

②月別人員調

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約	者数	156	156	156	155	155	155	155	155	155	154	153	153	1,858
月平均	生活介護	112.3	113.3	110.4	111.4	110.5	110.4	111.5	111.0	115.7	122.1	107.7	109.7	112.1
入所		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
退所		0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	7	11

③本年度入所者調

理 由	男	女	計
他施設より	1	0	1
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業生	0	0	0
計	1	0	1

④本年度退所者調

理 由	男	女	計
家 庭 引 取	0	0	0
就 職	0	0	0
他 施設への変更	4	4	8
ケアホーム	0	0	0
死 亡	1	1	2
その他(入院退所)	1	0	1
計	6	5	11

⑤在籍者数調 (初日現在)

程度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害程度区分6	123	123	123	122	122	122	122	122	122	123	122	122	1,468
障害程度区分5	27	27	28	28	28	28	28	28	28	26	26	26	328
障害程度区分4	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	62
障害程度区分3													
障害程度区分2													
障害程度区分1													
計	156	156	156	155	155	155	155	155	155	154	153	153	1,858

(3)利用者の日課

7:30	朝食
8:00	歯磨き
8:30	自由時間
10:00	日中活動
11:45	手洗い
12:00	昼食
12:30	歯磨き
13:00	日中活動 (入浴)
16:30	自由時間 (入浴)
17:30	夕食
18:00	歯磨き 洗面
18:30	自由時間
21:00	就寝

\*基本的に月曜から金曜日は毎日、日中活動、土曜日は月に2日から3日間、日中活動を行った。各ブロックの実態に合わせてながらできる限り規則的な生活を心掛けた。

#### (4)部門目標(反省)

##### <さくら>

- 1、利用者様の意思決定を基本とした支援を行おう。  
様々な選択場面を設定してきたが、難しい利用者様もいたことから今後に向けての取り組みは必要である。提示、提供方法など再検討していく。支援者個々で人権擁護に対する意識向上を図った。
- 2、転倒事故の防止を図ろう。  
重点目標、見守り時の注意点について毎月のケース会議で検討した。食堂への移動支援、歩行介助の方法の見直しを行った。昨年度に比べ、ヒヤリハット件数が減少した。
- 3、高齢化対策に向けた取り組みを行おう。  
利用者様の特性、ストレングス、オムツの当て方など個別ケースについて検討実施した。毎月のケース会議で重点目標を上げ、支援者間での共有を図った。

##### ○年間行事報告

バス旅行に関しては、予定通りに行うことができた。グループを分けて実施したが、それぞれの行先で皆様に喜んで頂くことができた。また、クリスマス会などの行事に関しても、例年通り楽しく過ごして頂ける内容であった。

##### <ポピー>

- 1、人権・意思決定支援に配慮した支援を目指そう。  
アンケートを実施し、改善点、疑問点、心掛けている事等を話し合い、結果を共有しより良い支援にしているための見直しを行った。好きな食べ物を選択できる機会を多くした。今後も利用者の方の意思をくみ取りながら進めていきたい。
- 2、安心・安全な生活を保障しよう。  
清掃に関しては毎日行う事はできたが、細かい部分にまで手を行き届かせる事が出来なかった。ヒヤリハットは毎朝、朝会で発表し、職員全員で情報を共有、防止策を話しあった。そのことにより、類似事例の数を減らす事が出来た。
- 3、活動を充実させよう。  
通院対応等で一人一人の活動時間に限りがあった。外気浴やブロック内での音楽活動も回数が少なかった。ジュース購入時の歩行は積極的に行うことが出来た。徒歩での外出は取り組みとしては良かった。

##### ○年間行事報告

数回に分け実施し、体調不良で参加できない利用者の方もいたが、安全に実施することができた。季節行事では楽しく企画参加することが出来た。

##### <ルピナス>

- 1、自閉症スペクトラム障害について知識を深めよう。  
自閉症の研究会や勉強会に積極的に参加し、問題行動を解決できるように様々な手段を学び実践する

事が出来た。

## 2、意思決定支援の充実を図ろう。

利用者様が自分で決める事が出来る様、写真・動作・表情などからくみ取る事を行った。

## 3、利用者様が健康で安全に生活できる環境を提供しよう。

重度高齢化に伴い食事支援について、見直しと改善を行った。むせ込む様子が見られた利用者様の食事支援について適宜栄養士や看護師の協力を得ながら支援の検討を行った。

### ○行事計画反省

ブロック行事については、利用者さんが楽しく参加している様子が見られ企画した職員側も一緒に楽しむことができた。

### <くらいつく>

#### 1、高齢化に向けた取り組みをしよう。

アンケートやソフト食体験を行なうことで、高齢化支援の意識も高まり利用者支援に反映出来るようになってきた。

#### 2、意思決定支援に配慮した支援を行おう

余暇外出や日帰り旅行では、写真を提示し、意思を反映できるように配慮した。生活場面での選択の幅を拡げる事が出来た。

#### 3、安全・安心な環境整備を行おう。

年間の計画を立て倉庫、物品庫、汚物庫の整理清掃を実施した。トイレ清掃に関しては不十分な状態も見られ、職員への意識改善を図った。

### ○年間行事報告

利用者に行きたい場所を選択してもらい、外出先を決めた。景色を眺めたり、自身で選んだ食事を食べ、楽しく安全に企画実施出来た。

### <ぼぶら>

#### 1、人権・意思決定支援に配慮した支援をしよう

権利擁護について目標を立て、毎月のケース会議で一人ずつ振り返りを行った。支援場面では写真等を使用するなどし、利用者様自身が行きたい場所や食べたい物を選択出来る場面が増えた。

#### 2、活動の充実を図ろう

日中活動については、通院や入院者等が多く、また、体調を崩す利用者様も多かった為、活動参加率は停滞気味だった。また活動内容の再検討は行ったが、具体的実施までには至らなかった。

#### 3、安心して生活出来る環境を整えよう

医療情報シートの見直しを行い、通院ノートに最新の情報を載せる事が出来た。ヒヤリハットについては実際にあった事象を抜粋し、支援注意点ファイルを作成することができた。

### ○年間行事報告

バス外出行事は、3回に分けて実施した。いずれも天候にも恵まれ、それぞれ楽しい時間を過ごす事が出来た。季節の行事や夏・冬休み行事等は次年度も継続したい。

#### <あかしあ>

- 1、利用者の意思をくみ取れる手段を発展させ、楽しんで行える余暇を増やそう。

これまで行っていた余暇の参加形態を見直し、個別から集団への参加を促す取り組みを行った。ほぼすべての行事が全員参加で行えるようになってきた。また、意思決定が出来る様に提示物を作成することなど視覚的配慮を行なった。

- 2、自閉症スペクトラムに対する特性を把握し、実践しよう。

活動場所の再構造化を行い動きやすい空間をつくった。個別のブースは確保しながらも利用者と支援者双方が動きやすくなった。季節ごとの掲示物等を活動の中で作成し展示したことで、雰囲気作りにつながった。

#### ○年間行事報告

外出行事は早くから目標を定め、行うことで全利用者が貸し切りバスを使い、参加する事が出来た。今まで外出行事を細かく分けていたが、今回出来たことで今後の外出行事の予定が立てやすくなった。

#### <お日さま>

- 1、自己決定・自己選択した意思を重んじよう。

筆談や写真を使用する機会を増やした。以前よりも意思の疎通が容易となり、利用者に対する思い込みなどからくる一方的な支援を減らすことが出来たと感じた。

- 2、安心・安全に配慮した生活を心掛けよう。

その都度話し合いを行ない、職員間での情報共有をすることが出来た。また、連絡ノートを作成する事で再確認することが出来た。

- 3、日中活動の充実を図ろう。

歩行の際、段差につまずく利用者が多かった為、歩行コースを見直すことで転倒などの危険性を未然に防ぐことが出来た。あーと展に出展し入選するところを目標に取り組むことで達成感を得られた。また、見学へ行く楽しみも出来た。

#### ○年間行事報告

バス外出は大きな問題もなく実施することが出来た。保護者参加行事は好評だった。

### 3. 職員の勤務状況

#### (1) 職員数、在籍数

施設長(管理者)	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	栄養士	看護師	その他職員	協力医	心理・音楽療法士	合計	給食業務委託
1	4	(16) 94	6	2	2	(3) 2	(3)	(3)	(25) 111	(9) 6

※( )は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員 令和2年3月31日現在

#### (2) 職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	氏 名
31.4.1～	生活支援員等	21名	31.4.1～	生活支援員等	17名
グリーンホーム厚別からの異動			グリーンホーム厚別へ異動		
31.4.1	生活支援員	1名	2.3.31	生活支援員等	3名
ワークショップ上野幌からの異動			そよ風へ異動		
31.4.1～	生活支援員	3名	2.3.31	生活支援員	2名
くるみ寮からの異動			ワークショップ上野幌へ異動		
31.4.1	生活支援員等	4名	2.3.31	生活支援員	4名
のぞみ寮からの異動			くるみ寮へ異動		
31.4.1	生活支援員等	2名	2.3.31	生活支援員	3名
まごころ保育園からの異動			ホープスへ異動		
1.9.1	事務員	1名	2.3.31	生活支援員	1名
就業・生活相談室しんさつぼろからの異動			就業・生活相談室しんさつぼろへ異動		
31.4.1	生活支援員	1名	2.3.31	生活支援員	1名
			幌西ほうおんへ異動		
			2.3.31	生活支援員	2名



## (3)職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出席者
4/1~4	行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
4/15~18	行動援護従事者養成研修	札幌市	4名
5/6~9	行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
5/20~23	行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
6/6	札幌危険物安全協会危険物安全週間保安研修	札幌市	4名
6/7	札幌市知的障がい福祉協会	札幌市	1名
6/8	応用行動分析からの自閉症支援	石狩市	1名
6/13	社会保険委員事務講習会	札幌市	2名
6/17~20	行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
6/21	札幌市知的障がい福祉協会新任職員研修	札幌市	1名
6/21	アサーティブコミュニケーションセミナー	札幌市	1名
6/21	算定基礎届事務講習会	札幌市	2名
7/4~5	北海道知的障がい関係支援員研修	札幌市	1名
7/4	社会福祉大会	札幌市	4名
7/8	ケアエキスパート講座	札幌市	1名
7/17	新任栄養士研修会	札幌市	1名
7/19	メンタルヘルス研修	札幌市	2名
7/19	OJT 指導者育成セミナー	札幌市	2名
7/31~8/2	障害者虐待防止・権利擁護指導者養成講座	札幌市	1名
8/1	権利擁護セミナー	札幌市	3名
8/3	4 法人研修(個別支援計画作成研修)	札幌市	6名
8/6	消費税改正対策セミナー	札幌市	1名
8/7~8	新任相談援助職員研修	札幌市	1名
8/7	腰痛予防講習会	札幌市	2名
8/15~16	看護協会主催研修会	札幌市	1名
8/16	仕事とストレスに効く心理学	札幌市	2名
8/22	栄養士専門研修会	札幌市	1名
8/29~30	強度行動障害(実践)支援者養成研修	札幌市	1名
8/30	ニューパワー全体セミナー	札幌市	6名
9/2	ファシリテーション技術向上セミナー	札幌市	1名
9/7	北海道 U/I ターンフェア秋 合同企業説明会	東京都	1名
9/11	全道グループホーム研修会	札幌市	1名

9/13	苦情・クレームセミナー	札幌市	1名
9/14	全国障害者問題研究会学習会	札幌市	2名
9/27	災害対策研修会	札幌市	2名
9/28	4法人研修北広島(個別支援計画作成研修)	北広島市	6名
10/2	赤い羽根街頭募金活動	札幌市	2名
10/4	エルダーメンター制度導入支援研修	札幌市	1名
10/5	江別すずらん病院記念講演会	江別市	1名
10/8~9	全道知的障がい関係職員研究大会(定山溪大会)	札幌市	3名
10/10~11	相談援助職員専門研修	札幌市	1名
10/11	発達障がい者支援を考える道民フォーラム	札幌市	2名
10/14~17	行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
10/15~16	相談支援従事者研修(サビ管向け研修)	札幌市	2名
10/19	菅野敦先生セミナー(支援者向け)	札幌市	2名
10/19	札幌市行動援護フォローアップ研修	札幌市	2名
10/22~24	全国知的障害福祉関係職員研究大会	鹿児島県	2名
10/26	札幌社会福祉フォーラム 2019	札幌市	2名
10/29,11/7	障害サービス事業所管理者等研修(初級編)	札幌市	1名
11/1	加齢化支援研修	札幌市	2名
11/7~8	自閉症スペクトラムセミナー in 旭川	旭川市	2名
11/9	社会福祉教育セミナー	札幌市	1名
11/15	教養セミナー	札幌市	1名
11/15	社会保険委員事務講習会	札幌市	1名
11/16	基礎から学ぶ ABA 支援(自閉研公開講座)	札幌市	1名
11/18	共済業務説明会	札幌市	2名
11/18	過労死防止対策推進シンポジウム	札幌市	1名
11/25,27	年末調整等説明会	札幌市	10名
11/26	厚別区事業所交流会	札幌市	2名
11/27	就業規則見直し、改定のポイント	札幌市	1名
11/29	福祉施設に望まれるハラスメント防止セミナー	札幌市	1名
12/3	給与・年末調整システム研修	札幌市	2名
12/7	4法人研修(個別支援計画作成研修)	恵庭市	5名
12/9~12	行動援護従事者養成研修	札幌市	3名
12/10	吉岡マネジメントクラブ月例セミナー	札幌市	3名
12/10~11	日中活動支援全国大会	札幌市	2名

12/13	認知行動療法の技法を学ぶ研修会	札幌市	1名
1/15~16	幹部職員研修	札幌市	3名
1/20~23	行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
1/22	厚別区若手支援者座談会	札幌市	3名
1/25	4法人研修(個別支援計画作成研修)	千歳市	6名
1/27	サービス管理責任者(更新)研修	札幌市	2名
1/30~31	社会福祉法人人事・労務管理講座	神奈川県	1名
2/8	札幌市フォーラム障がい分野から考える「共生」のかたち	札幌市	1名
2/10	災害に備えた地域での支えあい研修会	札幌市	1名
2/17~20	行動援護従事者養成研修	札幌市	2名
2/17~18	全道施設長研修会	札幌市	1名
2/20	年金委員事務講習会	札幌市	1名
2/21	札幌市知的障がい福祉協会職員研修会	札幌市	3名

#### (4)勤務時間

- ・勤務時間帯は現状で特に問題は無かった。夜間においてもバックアップ職員が2名多く配置されていることにより、利用者様の状態に合わせた対応を行う事が出来た。今後も必要に応じた対応を行っていく。

#### (5)諸会議

- ・定例の会議については、ほぼ予定通り実施する事が出来た

## 【グリーンホーム厚別 概要】

### — 施設入所支援・生活介護・短期入所 —

#### 1. 支援目標(反省)

- 生活介護においては、利用者さまが自立した日常生活または社会生活が出来るよう、入浴、排せつ、及び食事介助、生産活動及び創作的な活動、その他の便宜を適切かつ効果的に行いました。
- 施設入所支援においては、主として夜間においての安全に配慮し生活全般において、相談及び助言その他の必要と思われる日常生活の支援活動を行いました。
- 短期入所、日中一時支援事業においては、自他法人等問わず、地域で暮らす方々の多様なニーズにお応えし、積極的にお受けすることが出来ました。

#### 2. 利用者支援

##### (1)受け入れ目標

##### ①知的障がい者、施設入所支援

入所利用者の定員	60名(入所契約数 60名)
受け入れ目標(年間延べ)	21,272名 (62人×365日×0.94)
受け入れ実績	20,787名

##### ②知的障がい者、生活介護

利用者の定員	60名(生活介護契約数 66名)
受け入れ目標(年間延べ)	17,743名 (68人×269日×0.97)
受け入れ実績	16,833名

##### ③ 知的障がい児(者)の短期入所の受け入れ

一日の受け入れ枠	6名
年間延べ	900名
受け入れ実績	1,245名

##### ④知的障がい児(者)日中一時支援事業

一日の受け入れ枠	10名
年間延べ	5名
受け入れ実績	3名

(2)在籍実績

施設入所支援においては、21,272 名の目標に対して実数は 20,787 名であり、目標数値は未達成であった。生活介護においても、実数 16,833 名の利用で未達成であった。短期入所事業においては、実数 1,245 名の利用で達成できた。日中一時支援は 5 名の目標に対し実数 3 名で未達成であった。

[施設入所支援]

①利用者人員調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
平成 30 年度から本年度への繰越人員	35	25	60
本年度中の入所者数	0	1	1
本年度の利用者総数	35	26	61
本年度中の退所者数	0	1	1
差引本年度から令和 2 年度への繰越人員数	35	26	61
創立(S51. 6. 1.)以来の利用者総数	119	100	219

②利用者月別人員調

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者	60	60	59	59	59	59	60	60	60	60	60	60	716
月平均	56.2	59.3	55.7	56.7	54.1	56.4	56.6	57.2	57.3	55.5	58.3	58.3	57.0
入所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
退所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

③本年度入所者数調

男	女	計
0 人	1 人	1 人

④本年度退所者調

理 由	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	0	0	0
他施設へ異動(医療機関へ)	0	0	0
死 亡	0	1	1
その他	0	0	0
計	0	1	1

⑤在所利用者 区分別調(月初日)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分6	34	34	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	398
区分5	24	24	24	24	24	24	25	25	25	25	25	25	294
区分4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	60	60	59	59	59	59	60	60	60	60	60	60	716

[生活介護]

①利用者人員調

区 分	人 員		
	男	女	計
平成 30 年度からの繰越人員	40	26	66
本年度中の入所者数	0	1	1
本年度の利用者総数	40	27	67
本年度中の退所者数	0	1	1
差引本年度から令和 2 年度への繰越人員	40	26	66
S51. 6. 1 以来の利用者総数	122	101	223

平成 23 年度から通所部は生活介護事業所グリーンホーム厚別に統合。

②利用者月別人員調

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	66	66	65	65	65	65	66	66	66	66	66	66	78.8
月平均	45.8	45.1	44.8	46.9	45.9	45.8	46.9	46.5	47.6	46.8	46.0	43.6	46.0
入所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
退所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

③本年度入所者調

理由区分	男	女	計
他の施設より	0	1	1
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業生	0	0	0
計	0	1	1

④本年度退所者調

理由区分	男	女	計
家庭引取	0	0	0
地域生活への切替(グループホーム)	0	0	0
他施設への異動	0	0	0
死亡	0	1	1
その他	0	0	0
計	0	1	1

⑤在籍利用者 区分別調(月初日)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分6	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	408
区分5	24	24	23	23	23	23	24	24	24	24	24	24	284
区分4	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	66	66	65	65	65	65	66	66	66	66	66	66	788

### (3)利用者の日課

6:30～	起床、着衣、洗面等
7:00～	掃除
7:30～	朝食
8:00～	歯磨き
9:00～	自由時間
10:00～	日中活動(作業)
12:00～	昼食・歯磨き
13:00～	日中活動(作業)
15:30～	入浴・自由時間
17:30～	夕食
18:00～	歯磨き・洗面
19:00～	自由時間・夜間入浴(希望者)
22:00～	消灯

### (4)部門目標(反省)

<すずらん・はまなす>

①利用者の意向を踏まえた居室及び生活スペースなどの環境整備を行い、充実した毎日をご過ごして頂きます。

・定期的な清掃時間を設定し清潔保持に努めた。生活スペースも状況に応じて変更しながら環境整備を実施したことにより、より快適に過ごして頂くことが出来た。

②高齢化に伴った個別対応の充実と生活しやすい環境の見直しを行い、安全に配慮し生活が送れるようにします。

・危険防止の為に扉を設置、個々の食事や福祉用具の見直しを実施した。又、移乗の安全性を図りギャッジベッドに一部交換を行い、生活しやすい環境に繋げることが出来た。

<日中活動>

①利用者様の体力やストレングスを理解しその方に合った活動が提供できるように支援します。

・ご本人の状況や健康状態を把握しながら、特に療育的活動やリミック活動で身体を動かす機会を提供することが出来た。

②作業内容や移動方法を工夫し、作業提供が滞ることの無いように支援します。

・各作業班で移動の難しい方を検討し、すずらん、はまなす、作業班の枠を超えて移動体制を整えた。今後も利用者の状態により都度体制を見直し、安全に配慮していきたい。

③安全に楽しく外出行事に参加できるようご本人の「意思決定」を尊重して支援します。

・利用者の意向を聞き取り、話し合いをしながら数か所の行先を決定した。作業班ごとに慰安外出に行き楽しんでいただくことが出来た。

### (5)行事報告



実施日	行事	実施場所	参加者数
7月3～4日 7月17～18日	一泊旅行	帯広方面 小樽・定山溪方面	58名
8月14日	花火大会	グリーンホーム駐車場	31名
10月9日、10日、23日 24日、30日 11月6日、7日	慰安外出	ガトーキングダム、定山溪 パークゴルフ、百合ヶ原公園 千歳空港	59名
11月20日	勤労感謝の会	グリーンホーム食堂	64名
12月25日	クリスマス会	グリーンホーム食堂	67名
1月7日	年賀状抽選会	グリーンホーム食堂	59名
2月3日	豆まき	各寮内	67名

### 3. 職員の勤務状況

#### (1) 職員数、在籍者数

施設長	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	栄養士	その他の職員	合計	給食業務委託	
								及び契約 パート職員	栄養士他
1	2	(7) 32	1	1	1	(2)	(9) 37	(8)	(1)

※( )は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員 令和2年3月31日現在

#### (2) 月別職員在籍数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
生活支援員	31 (7)	31 (7)	31 (7)	31 (7)	31 (7)	30 (7)	30 (7)	30 (7)	30 (7)	31 (7)	31 (7)	31 (7)
その他の職員	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)
看護師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
協力医	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

(3)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
31.4.1～	生活支援員等	1名	R2.3.31	生活支援員等	2名
札幌報恩学園からの異動			札幌報恩学園へ異動		
31.4.1	生活支援員	4名	R2.3.31	生活支援員	3名
そよ風からの異動			のぞみ寮へ異動		
31.4.1	生活支援員	1名	R2.3.31	生活支援員	1名
			幌西ほうおんへ異動		
			R2.3.31	生活支援員	1名

(4)職員の研修

期 日	研 修 名	開催地	出席者
・4/12	北海道テンパック会第26回定期総会研修会	札幌市	2
・5/22～23	令和元年度 全道施設長セミナー	札幌市	1名
・6/10	令和元年度施設職員スキルアップ講座	札幌市	2名
・6/12	令和元年度サービス管理責任者指導者養成研修会	埼玉県	1名
・6/21	札幌市知的障がい福祉協会 新任支援員研修会	札幌市	2名
・7/4～5	令和元年度北海道知的障がい関係支援員研修	札幌市	1名
・7/6～9/8(全9回)	介護福祉士実務者研修	札幌市	1名
・7/18～19	看護師専門研修	札幌市	1名
・7/22～23	全国知的障がい関係施設長等会議	神奈川県	1名
・7/25～26	第62回大都市社会福祉施設協議会札幌市大会	札幌市	1名

・7/29、8/21	個別支援計画事業者研修会(基礎)	札幌市	1名
・8/1	令和元年度権利擁護セミナー	札幌市	2名
・8/3	個別支援計画研修(4法人研修)	札幌市	1名
・8/16~10/27(全9回)	介護福祉士実務者研修	札幌市	1名
・8/22	栄養士専門研修	札幌市	1名
・9/12~13	第38回全国社会福祉法人経営者大会	鳥取県	1名
・9/14~11/16(全9回)	介護福祉士実務者研修	札幌市	1名
・9/15	全国障害者問題研究会北海道支部記念講演・分科会	江別市	1名
・9/27	軽減税率制度説明会	札幌市	1名
・9/27	災害対策研修会	札幌市	1名
・9/28	個別支援計画研修(4法人研修)	北広島市	1名
・10/3	赤い羽根街頭募金活動	札幌市	2名
・10/4	エルダー・メンター制度導入支援研修	札幌市	1名
・10/8~9	全道知的障がい関係職員研修大会	札幌市	1名
・10/11	発達障がいの特性とその可能性	札幌市	1名
・10/10~11	相談援助職員専門研修	札幌市	1名
・10/19	ダウン症の方の理解と支援	札幌市	2名
・10/19~20	社会福祉士実習指導者研修	札幌市	1名
・10/21~22	第60回北海道福祉施設士会ブロックセミナー	札幌市	1名
・10/22~24	全国知的障害福祉関係職員研究大会	鹿児島県	1名
・11/1	令和元年度加齢化研修	札幌市	2名

・11/7～8	自閉症スペクトラムピックセミナー	旭川市	1名
・11/9	発達障がい講座	札幌市	1名
・11/26	厚別区事業所交流会	札幌市	1名
・11/28～29	第8回障害者支援施設部会全国大会	新潟県	1名
・11/29	福祉施設に望まれるハラスメント防止	札幌市	1名
・11/29	相談援助実習報告会	札幌市	1名
・12/4	ご近所やさい生産者交流会	札幌市	1名
・12/6	北海道障がい者虐待防止権利擁護研修	札幌市	1名
・12/7	個別支援計画研修(4法人研修)	恵庭市	1名
・12/10	令和元年度法人役員施設長専門研修	札幌市	1名
・12/10～11	日中活動支援部会全国大会北海道大会	札幌市	1名
・12/11	障害者総合支援法に基づく集団指導	札幌市	1名
・12/18～20	相談支援従事者研修	札幌市	1名
・1/18	社会福祉法人の予算策定・決算処理の実務解説	千歳市	1名
・1/6	厚別区新年互例会	札幌市	1名
・1/15～16	令和元年度幹部職員研修会	札幌市	3名
・1/22	厚別区若手支援者座談会	札幌市	3名
・1/25	個別支援計画研修(4法人研修)	千歳市	3名
・1/27	福祉事業者向け食品表示基準セミナー	札幌市	1名
・1/27	サービス管理責任者更新研修	札幌市	2名
・2/21	札幌市知的障がい福祉協会職員研修	札幌市	1名

#### (5)勤務時間

勤務時間帯は現状で問題は無かった。夜間に関しては必要に応じて3名体制を取っていた。通所の送迎に関しても臨機応変に対応することが出来た。今後も利用者様の状態に応じて必要な対応を行っていきたい。

#### (6)諸会議

定例の会議については、予定通り実施することが出来た。

## 【そよ風 概要】

### — 生活介護 —

#### 1. 支援目標の反省

○食事や入浴、排せつ等の介護および日常生活上の支援を提供し、かつ創作的活動または生産活動、レクリエーションや季節の行事等の機会を適切、効率的にとりいれ、利用者の自立促進、生活の質の向上に努めました。

#### 2. 利用者支援

##### (1)受け入れ目標

利用定員 20名(利用契約数 26名)  
受け入れ目標(年間延べ) 5,380名 (20名×269日)を目標とする。  
(日曜日と冬休みの5日間以外は開所する。)  
受け入れ実績 5,326名

##### (2)在籍実績

利用人員目標を 5,380名としており、実数が 5,326名となり概ね達成できた。

##### ① 人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	計
平成 30 年度から本年度への繰越人員	14	11	25
本年度中の契約者数	0	1	1
本年度の契約者総数	14	12	26

②利用者月別人員調

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
契約者数	26	26	26	25	25	25	24	24	24	24	24	23	296
月平均	18.3	18.1	18.3	17.3	16.4	17.6	17.0	16.8	17.6	17.6	14.4	16.7	17.1
平均区分	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
開所日数	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	25	26	310

③本年度入所者数

理由区分	男	女	計
他の通所施設より	0	0	0
在宅者	0	0	0
高等養護学校卒業者	0	1	1
計	0	1	1

④本年度退所者数

理由区分	男	女	計
他施設へ	1	1	2
就労	0	0	0
家庭	0	1	1
死亡	0	0	0
計	1	2	3

⑤在籍者数

	開所日数 (日)	現員数 (人)	延べ 利用者数(人)	原則日数 ×定員数	定員超過利用減算 に関わる利用率	平均 利用者数
4月	26	26	477	520	91.7%	18.3
5月	27	26	489	540	90.6%	18.1
6月	25	26	457	500	90.4%	18.3

7月	27	25	468	540	86.7%	17.3
8月	27	25	443	540	82.0%	16.4
9月	25	25	439	500	87.8%	17.6
10月	27	24	460	540	85.2%	17.0
11月	26	24	436	520	83.8%	16.8
12月	25	24	439	500	87.8%	17.6
1月	24	24	422	480	87.9%	17.6
2月	25	24	461	500	72.2%	14.4
3月	26	23	435	520	83.7%	16.7
計	310	296	5,326	6,200	85.9%	17.18

### (3)日課表

9:30～	登園、視診、ミーティング
10:00～	設定活動、個別活動
11:45～	昼食、歯磨き、休憩
13:00～	個別活動
14:00～	全体活動
15:00～	おやつ(水分補給)
15:30～	帰宅準備
16:00～	帰宅

### (4)事業所目標の反省

- 1、構造化のアイデアを活用し、安全で落ち着いて過ごせる環境等の提供に努めます。  
・新しいパーテーションを取り入れ、個別に対応できるスペースを作り構造化した。
- 2、活動全般の見直しを行いながら、地域の美化活動やレク活動の充実を図ります。  
・散歩を兼ねて地域のゴミ拾いなど、美化活動を行うことが出来た。また、定期的にレク活動を見直し新しいものを取り入れ、マンネリ化を防ぐことが出来た。
- 3、行事の際等に懇談の機会を設け、ご家族との交流を深めます。  
・行事の前後などに懇談の場を設けたり、日々の送迎時などに交流を持ち情報の共有を行いながら理解を深めることが出来た。

(5) 行事報告

実施日	行 事	実施場所	参加者数
5月30日	かたるべ	札幌ドーム	3名
8月17日	夏まつり	そよ風ライトコート	14名
7月7・22日・8月22・30日	バス外出	えこりん村	18名
11月7日	藻岩ライオンズボウリング大会	サンコーボウル	3名
11月20日	感謝の集い	そよ風ホール	20名
12月18日	クリスマス会	そよ風ホール	21名
1月4日	新年会	そよ風ホール	17名
2月3日	節分	そよ風ホール	11名
2月26日	スポーツ遊び体験事業	ばんけいスキー場	1名
3月3日	ひなまつり	そよ風ホール	19名
3月28日	おたのしみ会	そよ風ホール	9名

2. 職員の勤務状況

(1) 職員数、在籍者数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	協力医
1	1	(4) 9	1	(1)	(3)

※( )は臨時職員、嘱託職員、パート職員、兼務職員 令和2年3月31日現在

\* 月別職員在籍者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (4)	11 (4)	11 (4)	11 (4)	11 (4)	11 (4)	10 (4)	10 (4)	10 (4)
看護師	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
栄養士	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
事務員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
医師	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)



## (2) 職員の退職数

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
-	-	-	R1.12.31	生活支援員	1名
札幌報恩学園からの異動			札幌報恩学園へ異動		
31.4.1	生活支援員	1名	R1.3.31	生活支援員	1名
札幌報恩学園からの異動			札幌報恩学園へ異動		
31.4.1	事務員	1名	31.3.31	事務員	1名
くろみ寮から異動			グリーンホーム厚別へ異動		
31.4.1	生活支援員	1名	31.3.31	生活支援員	1名

## (3) 研修調べ

期 日	研 修 名	開催地	出席者
・5/22～23	2019年度全道施設長セミナー	札幌市	1名
・6/10	令和元年度施設職員スキルアップ講座	札幌市	1名
・7/4～5	第41回全国福祉施設士セミナー	福岡県	1名
・7/11	相談支援従事者研修(初任者)	札幌市	1名
・8/1	令和元年度権利擁護セミナー	札幌市	1名
・8/3	個別支援計画研修(4法人研修)	札幌市	1名
・9/10～12	相談支援従事者研修(中期)	札幌市	1名
・9/12～13	第38回全国社会福祉法人経営者大会	鳥取県	1名
・9/26	軽減税率制度等説明会	札幌市	1名
・9/28	個別支援計画研修(4法人研修)	北広島市	1名
・9/30、10/16	個別支援計画事業者研修会	札幌市	1名
・10/7～8	全国社会福祉法人経営者協議会 令和元年度監事監査講座	神奈川県	1名
・10/8～9	令和元年度北海道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	1名
・10/9～10	強度行動障害支援従事者養成研修	札幌市	1名
・10/11	発達障がいの特性とその可能性	札幌市	1名
・11/9	発達障害講座	札幌市	1名
・12/7	個別支援計画研修(4法人研修)	恵庭市	1名
・1/17	骨折セミナー	札幌市	1名
・1/22	厚別区若手支援者座談会	札幌市	1名
・2/21	札幌市知的障がい福祉協会職員研修	札幌市	1名

#### (4)勤務時間

昨年度同様、送迎の関係で変則勤務になったが、状況に合わせて柔軟に対応できた。冬の送迎に関しては冬時間を設定し無理なく行うことが出来た。運転業務に偏りがあるため、今後の見直しが必要であると考える。

#### (5)諸会議

定例の会議については予定通り実施できた。その他、研修受講者からの伝達の機会や構造化の見直し等、ケース検討会議も積極的に実施した。

・2/27	福祉施設職員内定者向け合同オリエンテーション	札幌市	2名
・2/28	厚別区で垣根のない支援を考える⑨	札幌市	1名
・3/6~7	第59回北海道福祉施設士会ブロックセミナー	札幌市	2名
・3/5	自閉症児・者のライフステージに合わせた支援について	札幌市	1名
・3/15	災害対策(振り返り)研修会	札幌市	1名
・3/23~24	平成30年度自閉症スペクトラムトピックセミナー	旭川市	1名

#### (5)勤務時間

利用者さまの状況や通院の状況に応じて弾力的かつ柔軟に対応できました。今後にも必要に応じた対応を行っていきます。

#### (6)諸会議

定例の会議については、予定通り実施することが出来ました。必要に応じ、随時臨時の会議を設け、対応してきました。会議で検討された内容は迅速に実施し、その都度進捗状況を報告してもらっています。研修においても予定通り実施できました。

## 【ワークショップ上野幌 概要】

### — 生活介護・就労継続支援A・就労継続支援B～多機能型 —

#### 1.支援目標(反省)

○生活介護は、利用者の意思を尊重し、創作的活動又は生産活動の機会を提供しました。社会資源も利用して様々な活動・作業を行いました。

○就労継続支援は、利用者の個々の能力・状態に応じた作業支援を行い、働く喜びや経験を積み重ね、一般就労が意識できるよう社会自立の促進をサポートしました。

#### 2.利用者支援

##### (1)受入目標 14,000名(達成率:107.1%)

生活介護定員 20名(契約数 26名) ⇒年間延べ利用者数:6,390名

就労継続支援B型定員 20名(契約数 26名)⇒年間延べ利用者数:6,034名

就労継続支援A型定員 10名(契約数 10名)⇒年間延べ利用者数:2,577名

合計 15,001名

##### (2)在籍実績

区 分	人 員
平成30年度から本年度への繰越人員	60名
令和元年度中の入所者数	3名
令和元年度の利用者総数	63名
令和元年度中の退所者数	1名
平成13年4月1日開所以来の利用者数	92名

#### ① 利用者月別人員調べ

##### ■生活介護事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
延べ人数	545	546	524	551	534	531	545	532	546	537	478	521	6,390
開所日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	24	25	26	311
月平均	21.0	20.2	21.0	20.4	19.8	21.2	20.2	20.5	21.0	22.4	19.1	20.0	20.5
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■就労継続支援 B 型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	24	24	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	308
延べ人数	477	475	500	527	520	513	535	502	524	510	473	478	6,034
開所日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	24	25	26	311
月平均	18.3	17.6	20.0	19.5	19.3	20.5	19.8	19.3	20.2	21.3	18.9	18.4	19.4
入所	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■就労継続支援 A 型事業所

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実員数	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	124
延べ人数	220	214	193	193	225	220	226	216	226	215	207	222	2,577
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
月平均	7.3	6.9	6.4	6.2	7.3	7.3	7.3	7.2	7.3	6.9	7.1	7.2	7.0
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

②本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他事業所へ	0	0	0
家 庭	0	1	1
就 職	0	0	0
計	0	1	1

③本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他事業所から	1	0	1
家庭から	0	0	0
その他	1	1	2
計	2	1	3

④在籍数、程度別調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
区分5	16	16	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	197
区分4	23	23	24	24	24	24	24	24	23	23	23	23	281
区分3	13	13	14	14	13	13	13	13	13	14	14	14	161
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
未実施	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	33
計	61	61	63	63	62	62	62	62	62	62	62	62	744

(3)利用者日課表

生活介護・就労継続支援B型

就労継続支援A型

9:00	出勤	8:00	出勤	時間内 4時間から 5時間の 就労 (シフト制)		
9:30	朝会					
9:35	生産・日中活動開始					
10:50	休憩					
11:00	活動再開					
12:00	昼食・休憩					
13:00	活動再開					
14:45	コーヒータイム					
15:00	活動再開					
16:00	活動終了					
16:30	退勤				18:00	退勤

(4)部門目標(反省)

生活介護事業所

・楽しみや喜びを感じられる活動を提供します。

⇒余暇活動の中で、野菜作り・おやつ作り、カラオケや創作活動など多種類の活動を提供し、各自選択し参加した。活動の成果を見せる場面も作り、達成感を味わう事ができた。

・利用者の持っている力を維持または発揮できる作業を行います。

⇒利用者のアセスメント評価を希望の聞き取りを行い、個別化や類似したニーズ事にグループ化した。その結果 利用者様の選択肢が増え、作業に対する満足度も

高まっていた。

・安心して生活できるように合理的配慮に努めます。

⇒行動援護研修で学んだ内容を利用者支援に取り入れ、生活環境の構造化や写真やカードを使った情報を視覚化した支援を行った。

#### 就労継続支援(B型)

・より良い製品を届ける為に技術向上の支援をします。

⇒個別に技術指導を行い、利用者の作業技術維持と作業意欲向上に繋がり、丁寧できれいな製品・商品を納める事が出来た。

・新規作業の開拓を行い、安定した収益を確保に努めます。

⇒新規作業でモップ製品の取り扱い作業を導入した。利用者のアセスメントや希望を聞きとり作業体験を重ねた結果、ほぼ全員が作業工程を理解でき、安定した作業量の確保できた。

・やりがいや生きがいにつながる作業を継続させるため、ニーズの把握と販路の拡大に努めます。

⇒手芸作品や菓子工房の商品をカフェベンダーや展示即売を始めた。手に取ってもらう機会やカフェメニューで食べてもらう事が多くなり、1つ販路が増えた。

#### 就労継続支援(A型)

・心身の特性に配慮し、自分らしく働けるように支援します。

⇒体力・技術面を考慮して、作業配置を行った。作業場所の環境や対人面で不安を持つ利用者には細やかな面談や作業確認を行った。

・多様な内容の作業を経験し、スキルの向上や一般就労につながる支援をします。

⇒利用者の希望や個別支援計画に基づき、作業配置と技術支援を行った。

職員と一緒に作業を行い、繰り返し作業工程の確認をすることでスキルアップにつながりました。

#### (5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
5	15	水	春の遠足(平岡公園)	近郊	20名
5	16	木	春の遠足(平岡公園)	近郊	26名
7	11~ 12	木~ 金	一泊旅行(伊達時代村 昭和新山)	洞爺湖方面	22名
7	18~ 19	木~ 金	一泊旅行(伊達時代村 昭和新山)	洞爺湖方面	20名
10	18	金	バス遠足(小樽水族館)	小樽方面	53名
12	25	水	クリスマス会	ワーク 食堂	51名

1	17	金	新年会 餅つき	ワーク 食堂	47名
2	3	金	節分・豆まき	ワーク 食堂	41名
2	5	水	お楽しみ会(科学館見学)	札幌青少年科学館	10名
2	6	木	お楽しみ会(ボウリング)	ベガシオボウル	20名
2	7	金	お楽しみ会(サンピアザ水族館)	サンピアザ水族館	17名
3	30	火	慰労会	ワーク 食堂	53名

### 3.職員の勤務状況

#### (1)職員数

管理者	サービス管理責任者	職業指導員	目標工賃達成指導員	賃金向上達成指導員	生活支援員	事務員	栄養士	給食職員	看護師	協力医	合計
1	(1)	2	1	1	(11) 8	(1)	(1) 1	(4)	(1)	(1)	(20) 14

※( )は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

#### (2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
H31. 4. 1	生活支援員	1名	R2. 3. 31	生活支援員	3名
R元. 7. 1	パート(生活支援員)	1名		管理栄養士	1名
R元. 8. 1	パート(運転手)	1名		報恩学園へ異動	
報恩学園からの異動			R元. 12. 1	生活支援員	1名
H31. 4. 1～	生活支援員	1名	ホープスへ異動		
	管理栄養士	1名	R2. 3. 31	係長	1名
グリーンホーム厚別からの異動					
H31. 4. 1	係長	1名			
幌西ほうおんからの異動					
H31. 4. 1	管理者	1名			

### (3)職員の研修

日程	研修名	開催地	出席者
R1.5.20-23	行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
R1.5.22-23	2019年度 全道施設長セミナー	札幌市	1名
R1.5.28	札幌市知的障がい福祉協会 令和元年度定期総会	札幌市	1名
R1.6.3-6	行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
R1.6.6	札幌市危険物安全協会 危険物安全週間 保安研修会及び市民啓発イベント	札幌市	1名
R1.6.21	札幌市知的障がい福祉協会 新任支援研修	札幌市	2名
R1.7.1-4	行動援護従事者養成研修	札幌市	1名
R1.7.4-5	北海道知的障がい関係支援員研修	札幌市	1名
R1.7.17	新任栄養士研修	札幌市	2名
R1.7.21-23	平成31年度全国施設長会議	横浜市	1名
R1.7.25-26	大都市札幌大会	札幌市	1名
R1.7.30	消費税対策セミナー	札幌市	2名
R1.7.31	平成31年度 福祉事業従業者研修 施設レクリエーションを見直す研修	札幌市	1名
R1.8.1	令和元年度 権利擁護セミナー	札幌市	1名
R1.8.3	4法人研修	札幌市	1名
R1.8.21	救急法セミナー	札幌市	1名
R1.8.30	令和元年度 ニューパワー全体セミナー	札幌市	2名
R1.8.31	公開シンポジウム HACCP 制度にどう備えるか	札幌市	1名
R.8.31-9.1	ジョブコーチセミナー	札幌市	1名
R1.9.5-6	全国生産活動・就労支援部会職員研修 全国大会 宮城	仙台市	1名
R1.9.12	令和元年度 社会福祉法人・社会福祉施設ブロック 研修会	札幌市	1名
R1.9.27	令和元年度 災害対策研修会	札幌市	1名
R1.9.28	4法人研修	北広島市	2名
R1.10.2	赤い羽根共同募金	札幌市	2名
R1.10.8-9	令和元年度全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	1名
R1.10.10-11	メンタルヘルス研修	札幌市	1名
R1.10.29-30	コベルコ 小型車両系建設機械運転特別教育	札幌市	1名
R1.11.19	加工食品表示説明会	札幌市	1名



R1.12.7	4法人研修	恵庭市	1名
R1.12.10	2019年度 法人役員・施設長専門研修	札幌市	1名
R1.12.11-12	令和元年度施設長実学講座(第5回) 基礎から学ぶ会計実務	東京都	1名
R1.12.11	札幌市 集団指導	札幌市	1名
R2.1.8	食品衛生責任者資格者養成講習会	札幌市	1名
R2.1.15-16	幹部職員研修	札幌市	1名
R2.1.22-23 2.12-13	北海道行動援護従業者養成研修	札幌市	1名
R2.1.25	4法人研修	千歳市	1名
R2.1.27	福祉事業者向け 食品表示セミナー	札幌市	1名
R2.2.7	社会福祉法人の予算策定 決算処理の実務解説	札幌市	1名
R2.2.7-8 2.14-15	北海道行動援護従業者養成研修	札幌市	1名
R2.2.17-18	令和元年度 臨時総会及び全道施設長研修会	札幌市	1名
R2.2.21	令和元年度札幌市知的障がい福祉協会 職員研修	札幌市	1名

#### (4)勤務時間

・勤務時間については、現勤務時間で特に問題はなかった。

#### (5)諸会議

・定例会議は予定通り実施することができた。事業所ごとの会議を行い、活動・作業内容の振り返りと利用者支援についての情報共有を行った。また、利用者生活の質の向上を目的として、利用者満足委員会を立ち上げた。今後は意思決定支援と地域社会参加をテーマに展開をしていく。

## 【のぞみ寮 概要】

### — 宿泊型自立訓練・短期入所—

#### 1. 支援目標(反省)

○一般就労や障害福祉サービスの利用者さまを対象に社会生活に必要な自立訓練を行ない、生活スキル及び社会適応能力の向上を目指し、円滑な地域移行の促進を図るべく、以下の事業を実施いたしました。

#### 2. 利用者支援

##### (1)受け入れ目標

・年間利用者延べ人数 ～ 6,000 名 実績:4,645 名  
 ・年間利用者延べ人数(短期入所) ～ 100 名 実績: 229 名

##### (2)在籍実績

###### ①利用者人員調べ

区 分	人 員		
	男	女	合計
平成30年度からの繰り越し人数	6名	7名	13名
本年度中の入所者数	4名	4名	8名
本年度中の利用者総数	10名	11名	21名
本年度中の退所者数	2名	3名	5名
差引本年度から令和2年度への繰越人員	8名	8名	13名
創立以来(通勤センターから)の利用者数	113名	89名	202名

###### ②利用者月別在籍調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
契約者数	13名	14名	14名	14名	14名	14名
入所	0名	1名	0名	0名	0名	0名
退所	0名	0名	0名	0名	0名	0名

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14名	14名	14名	14名	14名	18名	171名
0名	0名	0名	0名	0名	7名	8名
0名	0名	0名	0名	3名	2名	5名

③利用者障害程度区分調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0
区分3	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
区分2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6	40
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非該当	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	10	110
計	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	18	171

④短期入所調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
男	1名(12日)	0名(0日)	1名(8日)	1名(6日)	0名(0日)	2名(50日)
女	1名(4日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	1名(2日)	1名(5日)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2名(7日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	0名(0日)	15名
0名(0日)	1名(17日)	1名(30日)	1名(28日)	1名(29日)	1名(31日)	(229日)

⑤退所者調べ

事由	男	女
GHへ	2名	3名
家庭	0名	0名
単身生活	0名	0名
他施設へ	0名	0名
合計	2名	3名

(3)日課表(仕事の関係上この限りではなく一応の目安)及び行事

<日課>

6:30 起床(随時)  
 7:15 朝食・出勤(随時)  
 12:30 昼食(休日)  
 18:30 夕食

19:00 入浴・自由時間

22:00 消灯

<行事>

- ・ 5月17日 のぞみ寮歓迎会
- ・ 6月16日 運動会
- ・ 9月23日 報恩まつり
- ・ 10月5日 10月15日 10月18日 味覚祭分散開催
- ・ 1月 2日 新年会(くるみ寮と合同)
- ・ 1月14日 成人のお祝い会

(4)ブロック目標

- ・地域移行に向けた具体的な研修のプログラムを検討実施します。  
⇒基本的な知識習得、見学による社会資源の理解、実体験をすることでの具体的な技術習得と、可能な限り段階的に研修を行うことが出来ました。
- ・利用定員20名の満床を目指します。(空床時の短期入所利用促進)  
⇒平均の利用者数13.3名(短期入所を含む)であり、満床には至らなかった。各機関との連携を深める努力により、信頼関係が深まり、次年度は16名での開始予定であり、徐々に改善傾向でした。
- ・利用者の希望に即した地域移行を年度内に4～5名の実現を目指します。  
⇒5名の地域移行(内くるみ寮2名)が達成できました。
- ・北海道地域生活定着支援センターと連携し、受け入れ検討を進めます。  
⇒昨年度からの継続者1名の支援を行いました。支援困難な面も多く、増員は困難でした。
- ・利用者自治会による自主的企画を基本に、地域活動や勉強会、くるみ寮との交流行事等行います。  
⇒利用者の自治会中心に外食行事、くるみ寮との連携による新年会等実施した。
- ・利用者個々のカンファレンスが即時実施できるような体制作りを行います。  
⇒利用者個々の必要に応じた、関係者を交えたカンファレンスを適宜実施することが出来ました。
- ・くるみ寮と連携の強化をはじめ、関係専門機関との連携を図ります。  
⇒学校、相談支援事業所、職場、就業・生活相談室、職安、能力開発センター、家族との連携をさらに深めることが出来ました。
- ・研修参加や施設内研修を実施する事で障がい特性に応じた支援を行います。  
⇒触法障害者に関する研修をはじめ、外部研修に参加しました。
- ・利用者の夜間早朝の生活訓練の充実を目指し夜間支援体制強化を図る。  
⇒年間を通して夜間支援体制を継続できました。また10月以後は宿直を廃し、夜勤のみでの支援体制となり結果、夜間早朝の利用者の生活のリズム形成、基本的な生活スキルの向上は基より、日中時間の職員配置も改善し全体の支援力が向上しました。

### 3. 職員の勤務状況

#### (1) 職員数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	地域移行支援員	栄養士	看護師	合計
(1)	1	(7) 2	(1) 1	(1)	(1)	(11) 4

※( )は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

#### (2) 職員の異動

新任			退任		
発令	職名	人数	発令	職名	人数
H30. 7. 7~	夜間支援員	1名	H30. 4. 30	夜間支援員	1名
H31. 2. 2~	夜間支援員	1名	H30.12. 14	夜間支援員	1名
			H31. 3. 31	生活支援員	1名

#### (3) 研修調べ(外部研修)

日付	研修名	場所	人数
5/2223	全道施設長会議	札幌	1名
9/12~13	第45回全国宿泊型自立訓練職員研究大会	大分	1名
7/21~23	全国知的障がい施設等関係施設長会議	東京	1名
7/25~26	第62回大都市社会福祉施設協議会(札幌大会)	札幌	1名
8/3	個別支援計画作成研修(4法人)	札幌	1名
9/27	北海道地域生活定着支援推進会議	札幌	1名
12/7	個別支援計画作成研修(4法人)	恵庭	1名
12/10	法人役員・施設長専門研修(社会福祉施設)	札幌	1名
12/11	障害者総合支援法に基づく集団指導	札幌	1名
1/25	個別支援計画作成研修(4法人)	千歳	1名
12/10	法人役員・施設長専門研修	札幌	1名
1/30	財務分析講座社協	札幌	1名
2/17 ~18	平成30年度全道施設長研修	札幌	1名

#### (4)勤務時間

- ・ 土日祝祭日及び朝夕夜の支援ニーズに対して、夜間支援員を雇用し、夜間支援体制加算Ⅰ及びⅡによる夜勤を中心とした勤務体制をとって、支援を充実させることが出来ました。また、10月より宿直体制を廃止し、夜勤のみの勤務とし、職員の労働時間のさらなる適正化も実現できました。また、夜勤体制となることで、支援員の夜勤を減らし日中時間帯(遅早含む)での勤務を増やすことが出来るようになり、支援体制が充実できました。

#### (5)諸会議

- ・ くるみ寮とのぞみ寮の職員朝会の合同開催も安定的に実施できました。
- ・ 地域移行会議、各種委員会(虐待防止・感染症予防・事故防止・労働衛生)の合同開催の継続、グリーンホーム厚別給食会議参加、個別支援計画の策定及びモニタリング会議等3カ月1回開催により法人内各事業所との連携を継続できました。
- ・ 地域生活定着支援センター、相談支援事業所等関係者等との調整会議を実施しました。

## 【くるみ寮 概要】

### — 共同生活援助～介護サービス包括型 —

#### 1. 支援目標(反省)

- 利用者様が地域において日常生活を営むことが出来るよう、身体及び精神の状況並びに各々が置かれている環境に応じて支援を行いました。
- 各々のニーズに的確に応えられるよう支援活動行いました。

#### 2. 利用者支援

##### (1)受け入れ目標

・年間利用者延べ人数 ～ 28,000 名                      実数:26,767 名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員		
	男	女	合計
平成 30 年度から本年度への繰越員数	58 名	20 名	78 名
本年度中の入所者数	1 名	1 名	2 名
本年度中の利用者総数	59 名	21 名	80 名
本年度中の退所者数	2 名	4 名	6 名
差引本年度から令和 2 年度への繰越人員	57 名	17 名	74 名
創立以来(平成 22 年—休型以来)の利用者数	76 名	32 名	108 名

②月別員数調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
契約者数	78	77	77	77	77	77	77	77	77	76	75	74	
入所	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2
退所	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	6

③在籍者、程度別調べ

※利用者障害程度区分調べ

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
区分 6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35
区分 5	12	12	12	12	12	12	12	13	13	12	11	11	144
区分 4	14	14	14	14	15	15	15	14	14	15	15	15	174
区分 3	31	30	30	30	28	28	28	28	28	27	27	26	341
区分 2	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	205
区分 1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	20
計	78	77	77	77	77	77	77	77	77	76	75	74	919

※区分変更者あり

#### ④退所者調べ

事由	男	女
他施設へ	2名	1名
家庭	0名	0名
その他	0名	3名
合計	2名	4名

#### (3)日課、行事

##### <日課>

・利用者さんの出勤状況により1日の流れが異なる為、ホーム毎の日課で対応。

##### <行事>

5/26(日)、6/2(日) すずらんピック(卓球・ボウリング・フライングディスク)

10/27(日)同窓会

12/1(日)第23回「赤い羽根」ティーボール北の甲子園大会

1/2(木)のぞみ寮くみ寮合同鍋行事

#### (4)ブロック目標

・余暇の充実を図り、生活の質の向上をめざす。

⇒余暇行事や外出の行き先や回数等の集計をとったが、ホーム支援が多くなってしまい前年度より回数増には至らなかった。また新型コロナウイルス感染症の関係で、外出自粛を行ったため、回数が少なくなっている。

・分散して暮らす GH 利用者の災害発生時に適切に対処できるように体制を整える。

⇒各ホームそれぞれ年間 3 回の避難訓練を実施することができた。非常食を購入し個数、賞味期限の確認を行い、保管場所を 2 か所に分散した。

・GH の支援の質の向上を目指し、研修会を実施する。

⇒虐待防止研修、感染症対策研修、夜勤者支援研修を行なった。

・GH 利用者の成年後見制度の利用促進を図る。

⇒各利用者に解りやすいよう資料を作成し各 GH に提示した。新たに 1 名の利用者に後見人がをつけることができた。

・日々の健康管理と疾病・感染症等の予防体制の強化を図る。

⇒看護師が配置されたことにより的確な指示のもと通院や健康管理を行うことができた。感染症対策研修を行い各 GH に設置してあるノロウイルス対応セットの点検と入れ替えを行なった。新型コロナウイルス感染症の対策も新型インフルエンザ対策マニュアルを参照しながら、実施できている。

・利用者支援を効率的・効果的に行うため GH 運営の仕方について検討し構築する。



⇒今後の運営の仕方を見据えて新しい物件の購入を計画したが購入には至らなかった。新しい食材配達業者を選定し運用の仕方を検討し、次年度から運用できるようになった。

### 3. 職員の勤務状況

#### (1) 職員数、在籍者数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	事務員	看護師	世話人	合計
(1)		(3)	(2)	(1)	(59)	(66)
	3	7	1			11

※( )は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

#### (2) 職員の異動

新任			退任		
発令	職名	氏名	発令	職名	氏名
h31. 4. 1	看護師	1名	h31. 4. 1～	世話人他	6名
R2. 5. 1	支援員(臨)	1名	R2. 3. 31	事務員P	1名
h31. 4. 1～	世話人他	19名			
札幌報恩学園より異動			札幌報恩学園へ異動		
h31. 4. 1	支援主任	1名	R2. 3. 31	支援主任	1名
グリーンホーム厚別より異動			グリーンホーム厚別へ異動		
H31. 4. 1	生活支援員	3名	R2. 3. 31	生活支援員	1名

#### (3) 研修調べ(外部研修)

日付	研修名	場所	人数
5/22～23	2019年度全道施設長セミナー	札幌	1名
7/18～19	看護師専門研修	札幌	1名
7/21～23	全国知的障がい施設等関係施設長会議	東京	1名
7/25.26	第62回大都市社会福祉施設協議会(札幌大会)	札幌	1名
8/3	四法人個別支援計画研修	札幌	1名
8/24	令和元年度障がい者グループホーム支援者が本音で語る会	札幌	1名

9/11	全道グループホーム等スタッフ研修会	札幌	3名
10/27	難病医療相談会	札幌	1名
11/20.21	地域支援セミナー	千葉	1名
12/7	四法人個別支援計画研修	恵庭	1名
12/10	法人役員・施設長専門研修(社会福祉施設)	札幌	1名
12/11	障害者総合支援法に基づく集団指導	札幌	1名
1/15.16	令和元年度幹部職員研修会	札幌	1名
1/20	行動援護従事者養成研修	札幌	1名
1/25	四法人個別支援計画研修	北広島	1名
1/30	財務分析講座社協	札幌	1名
2/17.18	平成30年度全道施設長研修	札幌	1名
2/21	知的障がい福祉協会職員研修会	札幌	1名

#### (4)勤務時間

- 7:00 から 20:00 の日中帯の支援においては、早出、日勤、遅出の組み合わせのシフト制により円滑に対応できた。20:00 から翌 7:00 の夜間帯の支援においては、8 月より完全夜勤体制とした。障がいの重度化、高年齢化に備え、より介護サービス包括型に相応しい勤務体制の工夫も大きな課題である。

#### (5)諸会議

- くるみ寮のぞみ寮の、合同職員朝会は継続することが出来た。地域移行会議(毎月1回)、各種委員会(虐待防止・感染症予防・事故防止・労働衛生)の年4回開催の継続、ワークショップ上野幌給食会議参加、個別支援計画の策定及びモニタリング会議等により法人内各事業所との連携継続できた。
- 毎月各ホーム会議を行い、日々の課題の解決に努めるとともに、世話人と支援員の共通認識をはかり支援の方向性を確認する事が出来た。
- くるみ寮支援会議を毎月定例開催出来た。

## 【ホープス 概要】

### —就労継続支援(B型)・就労移行支援～多機能型—

#### 1. 支援目標(反省)

- ・就労移行支援では、定員6名に対し利用者が0名の状態が続きました。しかし、実習を受けた高等養護学校の卒業生が就労移行支援の利用を開始することが決まりました。
- ・就労継続支援B型では、利用者全員で作業の内容についての勉強会を開催することができました。作業の理解と就労に向けての意識付けを目指しました。
- ・これまでの作業の委託先から新しい作業の依頼を受けることができました。
- ・卒業後の利用を前提とした実習を受けることができました。

#### 2. 利用者支援

##### (1)利用者の受入目標

###### ① 定員 20 名(年間利用人数 28 名)

年間受入目標(年間延べ) 5,400 名

年間受入実績 移行:2名(利用率0.1%) B型:4,083名(利用率89.2%)

##### (2)利用者の在籍数、実績数

###### ①利用者人数調べ

	男	女	計
平成30年度から本年度への繰越人員	16	1	17
本年度中の入所者数	1	0	1
本年度中の利用者数	17	1	18
本年度中の退所者数	1	0	1
差引本年度から令和2年度への繰越人員	16	1	17
創立以来の利用者数	49	9	58

###### ②月別人員調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	205
月平均	11.5	13.5	13.6	13.8	12.9	13.8	13.5	13.2	13.2	12.5	12.7	12.5	13.0
入所	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

③本年度入所利用者調

入所者数	男	女	計
	1	0	1

④本年度退所利用者調べ

	男	女	計
一般企業への就職	0	0	0
他の福祉事業所の利用	0	0	0
入所施設	1	0	1
家庭	0	0	0
死亡	0	0	0
その他	0	0	0

⑤在籍者、程度別調

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
区分4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
区分3	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
区分2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
区分1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
非該当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	25
計	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	205

(3)利用者の日課表

・9:00より通所の受け入れを行い、9:30～16:30まで作業を行った。

(4)行事報告

実施日	行事	実施場所	参加者数
5月17日	お花見会	平岡公園	12名
5月30日	かたるべ	札幌ドーム	2名
7月19日・20日	一泊旅行	層雲峡方面	12名

10月12日	社会見学	札幌市下水道科学館他	11名
12月13日	忘年会	ホープス	14名
1月11日	新年会	厚別パークボウル他	10名
2月3日	節分	ホープス	11名
3月14日	慰労会	交流ホームひまわり	9名

#### (5)事業所目標(反省)

##### ①「就労移行支援利用希望者の獲得を目指す。」

- ・利用者さん向けの勉強会を実施することができました。
- ・実習を通して、次年度の就労移行利用希望者を獲得できました。

##### ②「ホープス内の研修を継続し、障がい特性の理解につなげる。」

- ・研修を計画的に実施することができませんでした。今後の計画性について課題であると思われます。
- ・外部研修に参加し支援会議等で報告することで情報の共有を行いました。

##### ③「障がいの強みを活かせる仕事とのマッチングを図る。」

- ・作業考課表の作成を行うことで利用者の現状を共有することができました。
- ・作業考課表に基づいた調整手当の支給ができました。
- ・利用者さんの希望する作業や個別支援計画に上げられている作業は継続して提供することができました。

##### ④「利用率の安定化を図る。」

- ・「働きやすい職場」になるよう、利用者さんに対して作業環境についてのアンケートを実施しました。
- ・前年度に比べて安定して利用者さんが出勤することができました。

##### ⑤「作業工賃を上げるための対策を考える。」

- ・ワックス美装時、一部使用するワックスによっては料金の見直しを行いました。
- ・利用者さんの動線を工夫することで作業の効率を上げることができました。
- ・現場作業の質をどう上げていくのかということも今後の検討課題であると思われます。
- ・ポスティングや草刈り等前年度以上の依頼を受けることができ、収入につなげることができました。

### 3. 職員の勤務状況

#### (1) 職員の在籍数調

管理者	サービス管理責任者	就労移行支援員	目標工賃達成指導員	職業指導員	生活支援員	事務員	看護師	協力医	合計
1	1	1	1	(1) 1	(2)	1	(1)	(1)	(5) 6

※( )は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

#### (2) 職員の異動

新任			退任		
発令年月日	職名	氏名	発令年月日	職名	氏名
報恩学園より異動			そよ風へ異動		
2020.3.26	職業指導員等	1名	2020.3.26	生活支援員	1名

#### (3) 職員研修

日程	研修名	場所	人数
5/22~23	2019年度全道施設長セミナー	札幌市	1名
5/28	2019年度 札幌市知的障がい福祉協会 定期総会	札幌市	1名
5/29	法律事務所講演会	札幌市	1名
7/5~9	2019年度第44期福祉施設長専門講座	神奈川県	1名
7/22	令和元年度 社会福祉法人経営者セミナー	札幌市	1名
7/25~26	第62回大都市社会福祉施設協議会(札幌大会)	札幌市	1名
7/30	消費税改正対策セミナー	札幌市	1名
10/8~9	令和元年度 全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	1名
10/21~22	令和元年度 北海道福祉施設士会ブロックセミナー	札幌市	1名
10/22~24	第57回 全国知的障がい福祉関係職員研究大会(鹿児島大会)	鹿児島県	1名

11/26	令和元年度 第9回厚別区事業所交流会	札幌市	2名
12/4	札幌市介護保険集団指導(訪問介護)	札幌市	1名
12/5	札幌市介護保険集団指導(居宅介護)	札幌市	1名
12/10	法人役員・施設長専門研修(社会福祉施設)	札幌市	1名
12/11	札幌市集団指導(障がい)	札幌市	1名
12/16	就労支援セミナー	札幌市	1名
1/15~16	令和元年度 幹部職員研修会	札幌市	1名
1/22	第1回厚別区若手支援者座談会	札幌市	1名
2/21	令和元年度 札幌市知的障がい福祉協会職員研修	札幌市	1名

#### (4)職員の勤務時間

・職員の勤務時間は 9:00～17:30で特に問題ありませんでした。

#### (5)諸会議

・ホープスの支援会議は利用者が退勤後に行う事で、特に問題はありませんでした。法人全体にかかわる他の会議は、担当職員のみ出席することで作業には影響はありませんでした。

## 【サポート91 概要】

### —居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援—

#### 1. 支援目標(反省)

・利用される方が居宅やグループホームにおいて自立した生活が送れるよう通院や余暇の支援を行いました。

#### 2. 利用者支援

##### (1)利用者の受入目標

・4月1日現在の契約者数は 87 名、うち居宅介護(ご自宅での見守り、入浴などの支援等) 35 名、行動援護(外出時の付き添い等)24 名、同行援護(視覚に障がいのある方の支援)3名、移動支援(札幌市の制度、外出の付き添い等の支援)53 名、私的契約(制度では賄えない部分の支援、通学時の支援、事業所とご自宅の送迎等)42 名、重度訪問

介護(ご自宅での重度重複障がいの方の支援等)1名となっています。(重複者含む)  
 2019年度は新規契約者数4名でした。  
 ・都合により2名の方が契約終了となりました。

(2)利用者契約者数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護

(単位:人、毎月初日)

区分	4月						5月						合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	37	37	37	37	37	37	38	38	38	39	39	38	452
重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
行動援護	22	22	23	23	22	22	22	21	22	23	23	22	267
同行援護	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
合計	62	62	63	63	62	62	63	62	63	66	66	64	758

(3)利用者延べ人数調べ～居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護(単位:人)

区分	4月						5月						合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	50	42	41	38	40	42	41	40	44	41	35	21	475
重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	16	22	44
行動援護	31	22	43	47	49	44	42	37	34	37	32	5	423
同行援護	5	4	5	7	4	7	6	6	6	5	3	4	62
合計	86	68	89	92	93	93	89	83	84	89	86	52	1004

(4)利用者契約者数調べ～移動支援

(単位:人)

区分	4月						5月						現数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
移動支援	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47



## (5)利用者延人数調べ～移動支援

(単位:人)

区分	平成 28 年						平成 29 年						合 計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
移動支援	68	78	89	94	83	63	75	78	81	75	70	5	859

## (6)契約者総数

(単位:人)

区分													合 計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
居宅介護	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
重度訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
行動援護	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
同行援護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
移動支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## (7)事業所目標(反省)

## ①「通院介助2件増を目指す」

リーフレットの改定を行い、ホームページへの掲載はできましたが、各所への配布には至りませんでした。今後も他事業所とも連携を図っていきます。

## ②「公用車の購入を検討する」

希望の車種や必要性についての検討を行いました。しかし、取得方法についての検討はできませんでした。

## ③「居宅介護事業の質の向上を図る」

- ・ヒヤリハット報告、モニタリング会議の充実を図ることを意識しました。
- ・モニタリング会議を定期的を開催することで利用者さん個々の計画について共有でき、また改善点や気づきを意見交換することができました。
- ・今後も継続して行います。
- ・他事業所の問い合わせ内容から、余暇の充実を希望されている方が多いことが分かったので、次年度に反映させていきたいと思えます。

### 3、職員の勤務状況

#### (1)職員の在籍数調べ

管理者	サービス提供責任者	サービス提供従事者	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	2	(4) 2	(1)	(1)	(1)	(8) 4

※( )は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

#### (2)職員の異動

新任			退任		
発令年月日	職名	氏名	発令年月日	職名	氏名
報恩学園より異動					
2019.4.1	サービス提供責任者	1名	2020.3.31	提供支援員	

#### (3)職員の研修調

日程	研修名	場所	人数
4/1～8	同行援護従事者研修(基礎・応用)	札幌市	1名
8/1	令和元年度 権利擁護セミナー	札幌市	1名
9/30・10/16	2019年度 個別支援計画事業者研修会(基礎研修)	札幌市	1名
11/26	令和元年度 第9回厚別区事業所交流会	札幌市	2名
1/15	個別支援計画事業者研修会(応用研修)	札幌市	2名

※その他、登録ヘルパーの研修を事業所で1回行った。

#### (4)職員の勤務時間

・通常勤務は 9:30～18:00 となっているが、支援内容によっては勤務時間の変更を随時行いました。

#### (5)諸会議

・支援の調整を行うことで月1回開催できました。  
・特に問題はありませんでした。

## 【ステーション106 概要】

### — 相談支援 —

#### 1. 支援目標(反省)

- ・サービス等利用計画作成の契約者数が 260 人を超し、計画作成件数、モニタリング件数が 450 件近くまで増えているが、今後も丁寧なアセスメントを心がけていく。
- ・計画相談支援については新たな加算要件を加えるため、札幌市が開催する研修に参加し、必要な書類作成に努めた。
- ・今後も厚別区内の委託事業所や指定事業所と連携を図りながら、対応していきたい。

#### 2. 利用者支援

##### (1) 在籍実績

##### ① 利用人数調べ

	男	女	計
平成 30 年度からの本年度への繰越契約者数	165	87	252
本年度中の新規契約者数	6	5	11
本年度中のサービス等利用計画作成件数	47	16	63
本年度中のモニタリング件数	255	130	385
本年度中の契約解消者数	4	2	6
創立以来の契約者数	182	108	290

##### ② 新規契約者の障がい別調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
重心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的	1	0	0	0	0	0	2	2	0	2	3	0	10
精神	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高次脳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	0	0	0	0	2	2	0	2	3	0	11

### ③相談月別人員調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談数	1	1	1	0	1	0	4	4	1	2	4	0	19
契約者数	1	0	0	0	0	0	2	3	0	2	3	0	11

### (2)事業所目標(反省)

#### ①「札幌市の委託の募集に備える」

今年度は新規委託事業所の募集はなかった。

#### ②「サービス等利用計画の受入件数の拡充を目指す」

法人内に限らず、地域の方からの作成依頼にも対応することができた。

相談員(パート)が1名増えたことで、今後も作成の依頼に出来る限り応えていけるよう対応していく。

#### ③「正確なスケジュール管理を行う」

他相談支援事業所がどのようにスケジュール管理を行っているのか情報収集を行いながら、モニタリングのスケジュール管理の方法を見直した。今後も作成予定に抜けがないようスケジュール管理の方法を話し合っていく。

#### ④「相談支援専門員を養成していく」

今年度は基礎研修を2名受講した。来年度は研修の受講要件に変更があるため、内容を確認しながら、計画的に受講していく必要がある。

### 3. 職員の勤務状況

#### (1)職員数、在籍者数

管理者	相談員	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	(3)	(1)	(1)	(1)	(6)
	1				1

※( )は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

## (2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名		発令	職名	
H31.4.1	管理者	1名	R2.3.31	管理者代行	1名
R1.10.1	相談員	1名	R2.3.31	相談員	1名

## (3)研修調べ

日程	研修名	場所	人数
5/22・23	全道施設長セミナー	札幌市	1名
10/2・3	監事専門講座「監事監査」	神奈川県	1名
11/26	厚別区事業所交流会	札幌市	1名
1/14	精神障がい者地域生活移行支援研修	札幌市	1名
1/24	指定相談の集い	札幌市	1名
1/31	相談支援・就業支援セミナー	札幌市	2名
2/14	地域移行研修会	札幌市	1名
2/17・18	全施設長研修会	札幌市	1名
2/22	ともに学ぶ共生社会を目指して	札幌市	1名

## (4)勤務時間

- ・ 勤務時間については特に問題なし。

## (5)諸会議について

- ・ ステーション106の会議を通して、職員間の情報共有を図った。
- ・ 開催日時はその都度調整し、問題なく行えた。

## 【就業・生活相談室しんさっぽろ 概要】

### — 就業・生活相談 —

#### 1. 支援目標:達成度

・札幌市の委託事業である「就業・生活相談支援事業」を受託し8年目の年となった。  
相談員とジョブサポーターが連携を図りながら、相談者の「働きたい」という想いに応える支援を展開し、就職者が年間25名と目標を達成することが出来た。

## 2. 利用者支援

### (1) 在籍実績

#### ① 利用人数調べ

	男	女	計
平成 30 年度からの本年度への繰越登録者数	102	43	145
本年度中の新規登録者数	18	22	40
本年度中の登録相談者数	120	65	185
本年度中の登録抹消者数	11	2	13
創立以来の登録者数	264	159	423

#### ② 新規登録者の障がい別調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
重心	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的	0	2	0	2	0	0	1	1	2	1	1	5	15
精神	0	2	2	1	2	0	2	1	3	1	0	2	16
発達	3	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	7
高次脳	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
難病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	4	3	5	2	1	4	3	5	2	1	7	40

#### ③ 相談月別人員調べ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談数	17	16	9	14	6	11	5	13	9	10	13	10	133
登録者数	3	4	3	5	2	1	4	3	5	2	1	7	40

(2)事業所目標:達成度

①年間就職者数 22 名を目標とする

- ・ 今年度は 25 名の方が就職され、目標を達成することが出来た。

②支援の質を向上させる。

- ・ ケース検討や毎月開催した勉強会でその時に学びたいことを題材に取り入れることで支援に直接役立てることが出来た。勉強会の進行も学びの機会になっている。情報共有の場、ケース検討の場をこまめに持ち支援に反映できるよう情報共有の仕方を検討していく。

③タイムリーな面談対応を目指す。

- ・ 新規相談の電話を受けてから面談までの期間が 4 月から 6 月頃は 1 カ月半以上お待ちいただくことがあったが、年度後半にかけては、3 週間以内に面談を実施することが概ね出来ていた。今後も新規相談の電話対応について見直しやロールプレイを実施することで、タイムリーな面談対応を行っていく。

3. 職員の勤務状況

(1)職員数、在籍者数

管理者	相談員	ジョブサポーター	事務員	看護師	協力医	合計
(1)	4	2	(1)	(1)	(1)	(4) 6

※( )は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

(2)職員の異動

新任			退任		
発令	職名	氏名	発令	職名	氏名
H31.4.1	管理者	1 名	R2.3.31	相談員	1 名
H31.4.1	相談員	2 名			
R1.6.1	相談員	1 名			

## (3)研修調べ

日程	研修名	場所	人数
6/25・26・27	就業支援基礎研修	札幌市	1名
7/8	問題解決技能トレーニング	札幌市	1名
7/11・12	相談支援従事者研修(初任者研修)	札幌市	1名
7/12	決算書の読み方と施設経営への活用法	札幌市	1名
7/19	協働型支援のための医福連携セミナー	札幌市	1名
7/29・30	働き方改革と施設長の人事労務管理	東京都	1名
8/1	北海道知的障がい福祉協会権利擁護センター	札幌市	1名
8/6	事業主支援の実際	札幌市	1名
8/27・28・29	就業支援基礎研修	札幌市	1名
8/31・9/1	JC-NET ジョブコーチ基礎・実践セミナー	札幌市	1名
9/3・4・5	相談支援従事者研修(初任者研修)	札幌市	1名
9/19	障がい者雇用を通して企業づくりを考えるフォーラム	札幌市	1名
9/21	恋路脳機能障害支援者ネットワーク研修会	札幌市	1名
10/10	テレワークに関する勉強会	札幌市	1名
10/11	発達障がいの特性とその可能性	札幌市	1名
10/11	これからの障害者雇用～多様な働き方を巡って～	札幌市	1名
11/2	高次脳機能障害支援者講習会	札幌市	1名
11/7・8	相談支援従事者研修(初任者研修)	札幌市	1名
11/15	専門職のための障がい年金講座	札幌市	3名
11/26	厚別区事業所交流会	札幌市	1名
12/9	就業・生活相談支援研修	札幌市	6名
12/11	高次脳機能障害事例検討会	札幌市	1名
12/11	LDに関する学習会	札幌市	2名
12/16・17	障がい者就労支援員養成研修レベル4	札幌市	1名
12/20	債務相談スキルアップ研修会	札幌市	1名
1/27	障がい者雇用セミナー	札幌市	3名
1/29	知的・発達障がい者 心と心をつなぐ啓発講座	札幌市	2名
1/31	相談支援・就業支援セミナー	札幌市	1名
2/1	難病医療相談会	札幌市	1名



2/1	10代から見据える就労支援	札幌市	2名
2/1	様々な立場で超短時間雇用を考えるフォーラム	札幌市	1名
2/6	障がい者就労支援研修 in 恵庭	恵庭市	1名
2/7	若者支援者の意見を聴く会	札幌市	3名
2/14	北海道就業・就労部会連絡協議会	札幌市	3名

#### (4)勤務時間

- ・ 支援に合わせて勤務調整を行い、問題なく運営することが出来た。

#### (5)諸会議について

- ・ 職員会議は協議する内容を簡潔にまとめる事が出来た。
- ・ 施設連絡会議等で法人内の情報についても共有を図ることが出来た。
- ・ 就労支援推進部会、就業・生活相談室連絡会議や障害者職業センターの発達障がい者支援会議、生活困窮者支援事業者との会議、ハローワークとの連絡会議、札幌職リハ会議等、外部の関係機関との会議にも多く参加することで、情報を共有することが出来た。

## 【まごころ保育園 概要】

### — 保育事業 —

#### 1. <支援目標(保育)反省>

○一人ひとりに寄り添った丁寧な保育と、集団の中で自分を出せる環境作りを大切に、生き生きとした保育内容の創意工夫し暖かい保育を育みます。

⇒・個々の成長に合わせ次の段階へ進むための話し合いを深めることができた。

・保育同士の話し合いなど密に行うことを大切にすることができた。

○子どもの発達過程を踏まえ、家庭と連携し「一緒に子育て」「共に育ち合い」を大切にしたい保育の質の向上へつながる安心安全な保育に努め、保護者様との信頼関係がさらに深まる保育を育んでいきます。

⇒・子ども達が楽しく過ごせるよう心がけた。他の保育士と連携することもできた。

・各年齢の発達に合わせた保育、環境作りに務めたが、担当保育士以外だと難しいこともあり、情報共有や勉強会を設けて学ぶ機会を持って行きたい。

○人とのつながりの中で地域交流を広げ、子育てを安心して楽しく行える環境を整え、子育て支援、保護者支援につなげます。

⇒・地域交流が全園児対象に出来る機会や時間を作っていきたい。

・近隣の方々や高齢施設の方々との交流や人とのつながりを感じる保育を行うことが出来始めた。

#### 2. 利用園児支援

##### (1)受け入れ目標

・ 入所園児(3月末日実数)

70名(定員60名)

年間受入延べ人数

14,836名

##### (2)在籍実績

・人員調べ

	年齢別人員												合計
	0才児		1才児		2才児		3才児		4才児		5歳児		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
本年度へ繰越園児数	2	1	7	2	7	5	4	7	7	5	8	5	60
本年度中入所園児	4	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	10
本年度中途退園・卒園児	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	8	5	15
3月31日在籍数	6	4	7	3	6	5	4	8	7	5	0	0	55
入園児総人数(H24年～)	男:88名 女:77名 合計 165名 (卒園児総数:81名・3月31日退園児 15名)												

・利用園児(入所)月別人数調べ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	68	69	69	70	70	70	70	70	70	70	70	70	774
入所	8	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15

・月別人数調べ(一時保育)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	0	1	2	2	3	1	3	3	8	3	2	1	29
延べ人数	0	4	3	3	10	2	6	7	20	10	9	6	80

・月別人数調べ(時間外保育)

標準 18:00~19:00

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	29	27	20	29	20	25	27	23	23	24	21	25	293
延べ人数	105	93	93	104	78	90	71	82	138	127	100	103	1184

短時間 7:00~8:00 /16:00~18:00

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実人数	1	0	0	2	2	2	2	4	5	5	6	4	33
延べ人数	1	0	0	5	6	2	8	21	20	28	26	12	129

(3)日課表

《 0才児/1・2才児 》		《 3才~5才児 》	
7:00	登園 混合保育	7:00	登園 混合保育
9:00	1・2歳未満児午前おやつ	9:20	3才以上児混合保育
10:00	クラス保育	10:00	クラス保育
10:30	0才児離乳食(月齢時間差有)		
11:15	1才児食事(2才児時間差有)		
12:10	午睡(年齢により時間差有)	11:30	食事
14:30	目覚め・着替え	13:00	午睡
14:40	午後離乳食(7/8か月以降児)	14:30	目覚め・着替え
15:00	1・2才児 おやつ	15:00	おやつ

16:00	1・2才児混合保育 随時降園	16:00	混合保育 随時降園
18:00	延長保育	18:00	延長保育
18:15	延長おやつ	18:15	延長おやつ
19:00	降園	19:00	降園

#### (4) 行事報告

- ・ 誕生会(毎月)
- ・ 園医小児科健診(3才以上児年2回 2歳未満児年4回 4/7/10/1月)
- ・ 避難訓練(毎月)第2週木曜日・火災・地震・不審者侵入3つを訓練時間や職員人数、避難場所(園内、園庭、駐車場)等変更し消火器の場所確認、初期消火及び通報訓練を実施した。

月 日	対象年齢	行 事 名
4月1日(月)10:00～	全園児	第8回入園進級式
5月7日(火)10:00～	全園児	子どもの日のつどい
5月20日(水)～27日(月)	保護者(夕方)	各クラス懇談会(6日間)
6月4日(火)9:45～	全園児	歯科検診
6月17日～28日	0, 1, 2才児	クラス個別懇談(3日間ずつ)
6月20日(木)10:00～	全園児	春の交通安全教室
5月16日(木)10:00～	2才以上	畑作り(予定変更有)
6月26日(水)9:20～	3, 4, 5才児	バス遠足(円山動物園)
7月1日(月)10:00～	全園児	プール開き
7月20日(土)9:30～	全園児	保育参観
7月1日～25日(月～金)	たてわり(3～5才児)	個別懇談(4日間ずつ)
8月7日(水)10:00～	全園児	七夕会
9月14日(土)9:30～	全園児	第8回運動会
9月20日(火)9:30～	2才児	みかん遠足(法人バス利用)
9月27日(金)9:30～	3, 4, 5才児	たてわり遠足
10月10日(木)	全園児	避難訓練(消防総合訓練)
10月25日(金)10:00～	2才以上児	カレークッキング
11月30日(土)9:30～	全園児	第8回生活発表会
12月3日(火)10:00～	全園児	冬の交通安全教室
11月21日(水)10:00～	全園児	厚別南中学校職場体験
12月6日(金)10:00～	全園児	もちつき会
12月25日(水)10:00～	全園児	クリスマス会
12月27日(金)10:00～	全園児	まゆ玉飾り

12月29日(日)~1月3日		年末年始の休園
1月7日(月)	全園児	お正月の会
1月24日(金)	5才児保護者	年長にじ組懇談会
2月3日(月)	全園児	豆まき会
2月13日(木)	全園児	スノーフェスティバル
2月17日(月)~24日(月)	保護者(夕方)	各クラス期末懇談会(内6日間)
3月3日(火)	全園児	ひな祭り会
3月7日(土)	新入園児	新入児オリエンテーション
3月14日(土)	年長児3, 4才児	第8回卒園式
3月25日(水)	年長児3, 4才児	お別れ会
3月28日(土)	全園児	新年度準備
3月30日(月)	年長児	月寒あんぱん和菓子作り体験

#### (5) ブロック目標(クラス反省)

##### \*0才児クラス(さくらんぼ組)

○ 一人ひとりを大切に快適な環境と信頼関係を育み、さまざまな心身の発達へつながる心育ちに繋がる保育を大切にする。

⇒保育士の配置人数が充実していたことで、一人ひとりの発達や生活リズムに合わせた保育が出来た。また、一人ひとりの成長を確認し合う機会を作ることが出来た。

一方で保育士の人数が多いことにより、情報共有がしっかりされていないこともあった。

・室内、戸外、運動遊び等体を動かす機会をたくさん作り、運動機能の発達を助長できた。又、指先や感触遊び等、アイデアを出し合いながら様々な保育を取り入れることが出来た。

##### \*1才児クラス(いちご組)

○ 一人ひとりの成長発達を見据え、自我の芽生えや自分でしようとする意欲を受容し暖かい保育を大切にする。

⇒行事や一年後の進級に向けて生活習慣の自立に向けた計画に沿った成長を助長でき、無理なく保育を行うことが出来た。

・個々の甘えや不安定な時期に、家庭との連携が上手く出来たケースもあり、原因を考え合いながら関わる事が出来た。逆に定期的に連携を深める時間が必要なケースもあり共通意識が足りない場面もあった。

##### \*2才児クラス(みかん組)

○ いろいろな体験の中で自己発揮し安心できる環境の中で自らの意欲と自信へつながるていねいな保育を大切にする。

⇒季節の変化を取り入れ活発に活動することができた。

・発達に合わせた遊びや生活習慣の取り組みを一緒に行う中で、褒める、わかりやすく伝えるなど自分で出来た達成感を味わえる保育を進めることが出来た。

\*3・4・5才児クラス(りんご・ぶどう・めろん組)

○ 身近な人とかかわりや異年齢の友だちとあそびを通し様々な経験の中で自分で考え行動する意欲や自信へつながる保育を大切にする。

⇒ 異年齢の友達との関わりを楽しめるよう仲立ちに力を入れ、その中で答えを一方向的にするのではなく、子ども達と一緒に考え、認め、褒められることで自信につなげることが出来た。

・3才児 いろいろな友達とかかわりの中で、助けられながらも自分から行動することを楽しみ、出来たことを喜び自信につなげる。

⇒ 日々の生活や行事を通して、年上の友達に助けてもらう方法を伝えることで、少しずつ自信へつなげ意欲を高めることが出来た。

・4才児 いろいろな友だちとのつながりを深め、意欲や思いやりの心を持ち、一緒に活動を楽しむ中で自信につなげる。

⇒ 行事の取り組みを通して苦手なことへの挑戦や、友達と一緒に楽しみながら取り組むことでかかわりを深めていくことができた。

・5才児 年長児として就学に向けて自己主張しながらも、思いやりを持ち、人の気持ちや自分の気持ちを考え、自信を持って行動しようとする。

⇒ 日々の活動の中で友達同士の関わりを深められ、友達の思いに気づき一緒に活動を楽しみ、行事を通して最後まで諦めない等の達成感につなげることが出来た。

\* 保育園全体

○ 豊かな自然の中で発見を楽しみ、いろいろな戸外遊びなどの経験を通し、自ら考えて行動できる豊かな心と逞しい体を育む。

(ア) 五感や感性が育つあそびや指先・足裏の発達を促す遊びを積極的に行い、一人ひとりが健やかにたくましく成長できる保育を工夫し実践につなげる。

⇒ 四季を通して自然を一杯取り入れた保育を展開することができた。

・園庭での裸足保育が発達を促すことへつながった。

⇒ 自然物など様々な素材を使い創意工夫した制作活動を行うことで、五感や感性の育ちにつながった。発達段階に合わせた保育内容を取り入れることができた。

3. 職員の勤務状況

(1) 職員数・在籍者数

管理者	主任保育士	保育士	管理栄養士	調理員	事務員	嘱託医	清掃業務委託	合計
1	1	(3) 15	1	(1) 1	1	(2) 0	(2) 0	(4) 20

※( )は臨時職員・パート職員 嘱託医・業務委託(清掃)人員数含まない

## (2)職員の異動

新 任			退 任		
発令年月日	職 名	人 数	発令年月日	職 名	人 数
31.4.1～	保育士	2名	R1.3.31	栄養士	1名
R1.6.1～	〃	1名			
R1.8.1～	保育士・事務員	2名			

## (3)研修調べ

期 日	内 容	開催地	出席人数
5/17	札幌市私保連研修会「保育の価値とリスク」	札幌市	保1名
5/22	私保連研修「わらべうたを学ぶ」	札幌市	保1名
5/28	私保連研修「災害から子どもを守るために私達ができること」	札幌市	保2名
6/ 3	私保連研修「リーダー研修」	札幌市	保1名
6/ 6	第1回厚別区幼保小連携推進協議会研修	札幌市	園/保3名
6/ 7	食育関係者食品衛生研修会	札幌市	栄1名
6/20	札幌市私保連研修会「フィールドワーク研修」	札幌市	保1名
7/6～9	全国社会福祉協議会「福祉施設長専門講座」	神奈川	園1名
7/ 9	私保連研修「ソーシャルワークを活かした保護者支援」	札幌市	保1名
7/ 11	私保連研修「保育所におけるリスクマネジメント」	札幌市	保2名
7/11/12	北海道・東北ブロック保育研究大会	札幌市	主保2名
7/17	社会福祉協議会 新人研修	札幌市	保1名
7/22	私保連「保育所等経営実態調査から自園の経営実態を知る」	札幌市	園1名
7/24/25	北海道保育協議会「障がい児保育担当保育士研修」	札幌市	保1名
7/27/28	北海道保育協議会「キャリアアップ研修 保護者支援」	札幌市	保1名
7/30	札幌市教育委員会「幼児教育モデルリーダー研修」	札幌市	保1名
8/ 1	札幌市教育委員会「幼児教育研修 保育実践 絵本」	札幌市	保1名
8/ 3～4	私保連研修会「キャリアアップ研修 幼児教育」	札幌市	保1名
8/ 6	札幌市防火管理委員会「救命法研修 こどもコース」	札幌市	保2名
8/ 7	札幌市教育委員会「幼児教育研修・保育実践 造形遊び」	札幌市	保1名
8/ 8	私保連研修会「札幌市児童虐待防止への取り組み」	札幌市	園・主2名
8/21	私保連研修「困難をかかえる保護者支援は困難？研修」	札幌市	保1名
8/29/30	北海道保育協議会「乳児保育担当保育士研修」	札幌市	保1名
8/30	社会福祉協議会「ニューパワー研修」	札幌市	園・保3名
8/30/1	北海道保育協議会「キャリアアップ研修 マネジメント」	札幌市	保1名

9/10	札幌市研修「第5回札幌市保育研修会 子どもを捉える視点」	札幌市	園・主12名
9/17	公開保育	札幌市	保1名
10/2	公開保育	札幌市	保1名
10/3	札幌市乳幼児園医協議会 講演会	札幌市	園・保2名
10/5・6	北海道保育協議会「キャリアアップ研修 乳児保育」	札幌市	保1名
10/7	私保連研修「0、1、2才児の発達保育」	札幌市	保1名
10/15	厚別区幼保証小連携推協議会	札幌市	園・保2名
10/16・17	札幌オレンジリボン地域協力員研修	札幌市	保3名
10/18・19	札幌市私保連研修 保育研究大会 基調講演・分科会	札幌市	保9名
10/24	私保連研修「気になる子どもの保護者への支援」	札幌市	保2名
10/28・29	札幌市障がい児保育研修	札幌市	保各1名
11/5・6	札幌市障がい児保育研修	札幌市	保各1名
11/11	厚別区保育所給食食育関係者食育研修	札幌市	保1名
11/15	札幌市児童虐待予防・防止研修	札幌市	園・保2名
11/25	年末調整説明会	札幌市	園・事2名
12/11/12	乳幼児担当保育士研修	札幌市	保1名
12/21/22	北海道保育協議会キャリアアップ研修「幼児教育」	札幌市	保1名
1/8	札幌市教育委員会「保育に生かせる運動遊び」	札幌市	保1名
1/20	厚別区研修「ヨガ研修」	札幌市	園・保3名
1/21	保育の予算と決済セミナー	札幌市	事1名
1/25/26	北海道保育協議会キャリアアップ研修「食育アレルギー」	札幌市	保1名
1/30	社会福祉協議会 酒井福祉法人会計事務社決済財務分析	札幌市	事1名
2/1～2	北海道保育協議会キャリアアップ研修「障がい児保育」	札幌市	保1名
2/7	吉岡経営センター「社会福祉法人の予算策定決算処理」	札幌市	事1名
2/15/16	北海道保育協議会キャリアアップ研修「マネジメント」	札幌市	保1名
2/17	北海道社会福祉協議会「社会福祉法人経営社実務セミナー」	札幌市	園1名

(ア) 勤務時間

- ・保育と事務仕事など協力体制ができた。シフト勤務の連携もしやすかった。土曜日に登園する園児が少ない時など有効に保育活動や行事の準備などを行うことができた。

(イ) 諸会議

- ・各会議等の打ち合わせはほぼ計画通り実施出来た。カリキュラム会議の個別支援の話し合いや全職員揃って研修や会議の時間確保は難しく、内容共有や伝達方法の工夫が必要だった。



## 【幌西ほうおん概要】

### — 生活介護・就労継続支援(B型) ～ 多機能型 —

#### 1. 支援目標(反省)

- ・ 利用者の自立支援をはじめ、住み慣れた街での地域生活を支えるために、社会資源を活用した日中活動の提供を行いました。
- ・ 個々の能力や個別の状況に応じ、働くことや地域の方々とのコミュニケーションの機会を経験することで、地域の一員としての役割を感じる取り組みを行いました。

#### 2. 利用者支援

(1)受入目標 5,808名(達成率:69.6%)

生活介護定員 15名(契約数 19名) ⇒年間延べ利用者数:3,245名

就労継続B型定員10名(契約数 4名) ⇒年間延べ利用者数: 796名

合計 4,041名

(2)在籍実績

①利用者人数調べ

区 分	人 員
平成 31 年度の利用者総数	23 名
平成 31 年度中の退所者数	1 名
平成 29 年 4 月 1 日開所以来の利用者数	36 名

②月別人員調べ(多機能)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
契約者数	23	23	22	22	23	23	23	23	23	23	23	23	274
延べ人数	354	358	322	349	346	338	355	326	330	304	317	342	4,041
開所日数	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	25	26	310
月平均	13.6	13.2	12.9	12.9	12.8	13.5	13.1	12.5	13.2	12.7	12.7	13.1	13.0
入所	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	5
退所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

③本年度退所者調べ

	男 性	女 性	合 計
他施設へ	0	0	0
家 庭	0	1	1
就 職	0	0	0
計	0	1	1

④本年度入所者調べ

理 由	男 性	女 性	計
他施設から	0	0	0
家庭から	0	1	1
その他	0	3	3
計	0	4	4

⑤在籍者、程度別調べ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分6	7	7	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	82
区分5	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
区分4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未実施	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
計	23	23	22	22	23	23	23	23	23	23	23	23	274

### (3)利用者日課

9:30	登園・バイタルチェック
9:45	朝の会、ラジオ体操
10:00	活動開始
12:00	昼食・休憩
13:00	活動開始
15:00	休憩・自由時間
15:30	掃除
15:50	帰りの会
16:00	帰宅

### (4)事業所目標(反省)

#### ①日中活動の充実、年間行事の充実を図る。

⇒利用者さんの自立支援、意思決定支援を基本にし、個々の能力に合わせた活動プログラムを提供した。特に創作活動においては季節の装飾品、あーと展出品に向けた作品作りに力を入れ、それぞれ結果を出すことが出来た。行事については季節に沿った屋内外の行事を企画、実施した。

#### ②B型作業の安定化を目指す。

⇒平均利用率 69.2%、平均稼働率 25.7%と、利用、稼働率は低かったが、委託作業、飲食作業共に安定した活動を継続出来た。カフェの売り上げはコロナウィルスの影響により昨年比 15%減だったが、次年度は受託作業量数も増やし工賃増額を目指したい。

#### ③安全に送迎業務を行う。

⇒利用状況が日々異なり煩雑ではあったが、月間送迎表を基に都度臨機応変に対応し、1年間事故無く安全に送迎することができた。また、既存の送迎マニュアルを再度見直し、現状に合わせた改訂版を作成した。

#### ④設備備品の美化、管理に努める。

⇒チェック表を用い日々、建物の美化管理に努めた。

⑤地域福祉の拠点としての役割を果たす。

⇒地域、他機関の要望に応え、3階会議室の貸し出し、カフェすみれの貸し切りイベント等、様々な用途でご利用いただけるよう対応した。また、昨年と同様に民児協との交流会に参加した。

### (5)行事報告

月	日	曜日	行事等	施設内・外	利用者参加数
5	9	木	お花見会(2グループ)	平岡公園	16名
7	19	金	夏の遠足(2グループ)	さとらんど	17名
8	7	水	七夕まつり	2階ホール・食堂	17名
10	2	水	ハイキング(2グループ)	レクリエーションの森	15名
11	13	水	秋の食事外出(3グループ)	白い恋人パーク他	18名
12	25	水	クリスマス会	カフェすみれ	19名
1	7	火	新年会(餅つき、レクリエーション)	1階、2階ホール	13名
2	3	月	節分・豆まき	全館	23名
2	20	木	冬の外出行事	羊ヶ丘展望台他	14名
3	30	月	お疲れ様会	食堂	14名

### 3. 職員の勤務状況

#### (1)職員数

管理者	サービス管理責任者	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員	事務員	調理員	看護師	協力医	合計
(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(2)	(1)	(1)	(6)
1	0	5	1	1	1	0	0	0	9

※( )は臨時職員・嘱託職員・パート職員・兼務職員

## (2)職員の異動

しんさつぽろからの異動			ワークショップ上野幌へ異動		
発令年月日	職名	人数	発令年月日	職名	人数
2019.4.1	支援課長	1名	2020.3.31	生活支援員	1名

## (3)職員の研修

日程	研修名	開催地	出席者
2019.5.22-23	全道施設長セミナー	札幌市	1名
2019.6.6	危険物安全週間保安研修会	札幌市	1名
2019.7.12	決算書の読み方と施設経営への活用方法	札幌市	1名
2019.8.1	権利擁護セミナー	札幌市	1名
2019.7.22-23	全国知的障害者関係施設長等会議	神奈川県	1名
2019.7.25-26	第62回大都市社会福祉施設協議会札幌市大会	札幌市	1名
2019.8.3	4法人個別支援計画作成研修	札幌市	1名
2019.8.6	社会福祉法人のための消費者改正対策セミナー	札幌市	1名
2019.9.28	4法人個別支援計画作成研修	北広島市	1名
2019.10.8-9	全道知的障がい関係職員研究大会	札幌市	1名
2019.10.21-22	第60回北海道福祉施設士会ブロックセミナー	札幌市	1名
2019.10.29-30	小型車両系建設機械運転特別教育受講	札幌市	1名
2019.11.21-22	北海道サービス管理責任者研修	札幌市	1名
2019.12.7	4法人個別支援計画作成研修	恵庭市	2名
2019.12.10	法人役員・施設長専門研修	札幌市	1名
2019.12.10-11	日中活動支援部会全国大会北海道大会	札幌市	1名
2020.1.15-16	幹部職員研修会	札幌市	2名
2020.1.30	会計実務者決算・財務分析講座	札幌市	1名
2020.2.17	全道施設長研修会	札幌市	1名

## (4)勤務時間

- ・ 勤務時間については、現勤務時間で特に問題はなかった。
- ・ 送迎時間については、冬時間対応が必要となった。

## (5)諸会議

- ・ 定例の会議については、予定通り実施することができた。必要に応じ随時臨時の会議を設け対応した。
- ・ 給食会議を委託業者との定例会議を実施し情報交換を図った。